平成30年度

学 生 募 集 要 項

〔 一般入試（前期日程・後期日程）〕

教 育 学 部

法　学　部

経 済 学 部

医　学　部

創造工学部

農　学　部

平成29年11月

香　　川　　大　　学

平成30年度　香川大学入学者選抜日程の概要

大　学　入　試　セ　ン　タ　ー　試　験

１月13日（土）・14日（日）

前　期　日　程	後　期　日　程
出　願　期　間　（前期日程，後期日程） １月22日（月）～１月31日（水）	
学　力　検　査　日 ２月25日（日） ※医学部(医学科)のみ２月25日（日）・26日（月） ※医学部(臨床心理学科)の試験日程は，受験者数によっては翌日にわたる場合があります。	学　力　検　査　日 ３月12日（月） ※医学部(医学科)の試験日程は，受験者数によっては翌日にわたる場合があります。
合　格　者　発　表　日 ３月６日（火）	合　格　者　発　表　日 ３月22日（木）
入　学　手　続　期　限 3月15日（木）	入　学　手　続　期　限 3月27日（火）

入　　学　　式　　４月３日（火）（予定）

目次

インターネット出願への移行について・・・１
学部新設及び学科再編等に伴う入学定員の変更について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
農学部における募集人員の変更について・・・３
Ⅰ 入学者の受入方針・・４
Ⅱ 募 集 人 員・・23
Ⅲ 出 願 に つ い て
１．出 願 資 格・・25
２．出 願 手 続・・26
３．選 抜 方 法・・32
４．学力検査等の日時及び場所・・53
５．合 格 者 発 表・・56
６．入 学 手 続・・56
７．追加合格について・・・58
８．追加合格の情報等について・・・58
９．欠員補充第２次募集について・・58
10．入試情報の開示について・・58
11．障害を有する入学志願者等との事前相談について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
12．出願資格審査について・・62
13．個人情報の取扱いについて・・・62
14．その他・・63
15．入学試験等に関する照会・・・64

香川大学関西地区検査場建物配置図
香川大学関西地区検査場案内図
香川大学検査場建物配置図
香川大学検査場案内図

インターネット出願への移行について

平成30年度一般入試（前期日程・後期日程）および推薦入試では，インターネット出願への完全移行に伴い，これらの学生募集要項の冊子（紙媒体）での配布を行いません。入試の詳細については，香川大学ホームページ上に掲載する学生募集要項をダウンロードしてご確認ください。

香川大学入試情報（募集要項ダウンロードページ）
http://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/

なお，出願については，志願者本人がパソコン等インターネット環境を有していない場合でも，保護者等の所有する端末や公共施設等のパソコンのインターネット環境を利用するなどの方法で出願することができます。もし出願に際して支障がある場合は，出願開始日の前日までに入試グループ（連絡先は裏表紙を参照）までご相談ください。

学部新設及び学科再編等に伴う入学定員の変更について

香川大学では，平成30年４月に学部新設と学科再編を予定しています。これに伴って，平成30年度入学者選抜から，入学定員を以下のとおり変更します。

【教育学部】

〈変更前〉

学部	学科・課程	入学定員
教育学部	学校教育教員養成課程	160
	人間発達環境課程	40
	合計	200

〈変更後〉

学部	学科・課程	入学定員
教育学部	学校教育教員養成課程	160
	合計	160

【経済学部】

〈変更前〉

学部		学科・課程	入学定員
経済学部	昼間コース	経済学科	100
		経営システム学科	105
		地域社会システム学科	75
	小計		280
	夜間主コース	経済学科	6
		経営システム学科	8
		地域社会システム学科	6
	小計		20
	合計		300

〈変更後〉

学部	学科・課程	入学定員
経済学部	（昼間コース） 経済学科	240
	（夜間主コース） 経済学科	10
	合計	250

【医学部】

〈変更前〉

学部	学科・課程	入学定員
医学部	医学科	109
	看護学科	60
	合計	169

〈変更後〉

※医学部医学科における入学定員が109人となるよう調整中です。

学部	学科・課程	入学定員
医学部	医学科	104
	看護学科	60
	臨床心理学科	20
	合計	184

【工学部】※工学部を基盤とし，創造工学部を新設

〈変更前〉

学部	学科・課程	入学定員
工学部	安全システム建設工学科	60
	電子・情報工学科	80
	知能機械システム工学科	60
	材料創造工学科	60
	合計	260

〈変更後〉

学部	学科	コース	入学定員
創造工学部	創造工学科	造形･メディアデザイン	330
		建築・都市環境	
		防災・危機管理	
		情報システム･セキュリティ	
		情報通信	
		機械システム	
		先端マテリアル科学	
	合計		330

（注）
入学定員の変更を予定している学部のみ記載しています。

農学部における募集人員の変更について

平成30年度入学者選抜から，農学部応用生物科学科の募集人員を以下のとおり変更します。

この記載内容に変更が生じた場合は，本学のホームページ（http://www.kagawa-u.ac.jp/）等ですみやかに公表します。

【変更前】

学部	学科	入学定員（人）	募集人員（人）		
			一般入試		特別選抜
			前期日程	後期日程	推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を免除する推薦入試）
農学部	応用生物科学科	150	100	25	25
	計	150	100	25	25

【変更後】

学部	学科	入学定員（人）	募集人員（人）		
			一般入試		特別選抜
			前期日程	後期日程	推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を免除する推薦入試）
農学部	応用生物科学科	150	105	15	30
	計	150	105	15	30

Ⅰ　入学者の受入方針

香川大学は，「世界水準の教育研究活動により，創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し，地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」という大学の理念にふさわしい学生を求めています。

各学部，学科・課程の具体的な入学者の受入方針は次のとおりです。

教 育 学 部

１．教育理念

香川大学教育学部は，学校教員をはじめ教育者を養成し，広く教育界に貢献することを理念とします。今日の学校教育の現場には，急激な社会の変化の中で，教科に関する新しい学力をどのようにつけるか，子どもたち一人一人の自己実現をどのように支援できるかなど，人間形成に関するきわめて重要な課題があります。また急速な少子・高齢化，情報化社会の進展，切実さを増す環境問題，多文化社会における共生の在り方などの問題は，生涯にわたる教育の必要性と新たな教育的課題を生み出しています。このような教育に関する課題に柔軟かつ積極的に対処できるように，人間の発達・形成に関する教育研究を基礎に，教育に関する総合的な教育研究を行い，教育実践力を有する学校教育教員及び広く教育界で活躍できる人材の養成を目指します。

２．教育目標

教育学部では，その教育理念に基づき，豊かな人間性と教職への強い使命感をもつとともに，社会の変化やニーズを適切に踏まえ，学校教育が抱えるさまざまな現代的教育課題に協働して対処することができる，専門的知識と実践的指導力を備えた教育者を養成します。

３．教育内容

教育学部では，学部の教育目標に沿った４年間一貫教育を行っています。

１年次は各コースに所属し，全学共通科目と学部共通科目を中心に学び，教職に関する基礎とともに，自分の興味や関心を探求し視野を広げます。２年次以降は，より実践的で専門的な授業科目を履修していきます。（小学校・中学校コースでは，２年進級時に各教科領域等を決定します。）特に３年次以降に配当された教育実習を中心として，教科内容の学習や教科外の諸活動を行う中で，それぞれの課題を発見し，解決する能力の育成を目指しています。４年次の卒業研究では，それぞれの具体的な課題に取り組み，専門分野の総合的学力を高めます。

４．入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊学校教育において，問題解決するための論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊学校教育に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊様々な課題にチャレンジする積極性を持ち，経験の積み重ねを通して将来へのビジョンの構築に努める能力

⑤倫理観・社会的責任

＊教育者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

ボランティア活動や学校内外での諸活動で教育に関する何らかの実践を経験するなど，子どもの理解と教育に携わる意欲を持ってください。

教育者として他者の意見や価値観を尊重し，他者を思いやることができるコミュニケーション能力が必要とされるので，幅広い視野と主体性・協働性を養い，自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

５．選抜方法の趣旨

〇一般入試

一般入試では，高等学校での教科面における学習の達成度をみるため，大学入試センター試験５教科７科目又は６教科７科目（理科の選択科目によっては５教科８科目又は６教科８科目）を課しています。

＊前期日程

幼児教育コース及び小学校教育コースでは，個別学力検査（国語，英語，数学，理科）又は実技検査（音楽，美術，保健体育）から１科目選択し，得意な教科に関する達成度（知識・技能，及び思考力・判断力・表現力）を評価します。

中学校コースについては，受験教科によって A 系（国語又は英語），B 系（数学又は理科），C 系（実技：音楽，美術又は保健体育）の三つの系を設けて教科の専門性（知識・技能，及び思考力・判断力・表現力）をより重視して評価します。

＊後期日程

いずれのコースとも小論文が課せられ，大学生に求められる資質としての論述の能力（理解力，思考力・判断力・表現力など）を総合的に評価します。

法 学 部

１．教育理念

香川大学法学部は，四国で唯一の国立大学法学部であり，高等裁判所をはじめとする重要な官公庁の位置する地の利を活かし，全国的にも高い評価を受ける教育研究を行うことを目

指しています。
香川大学法学部は，開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民を育てます。さらに，法学的素養を備えた専門職業人を養成します。
夜間主コースにおいては，社会人としての幅広い判断力や，専門実務能力である政策遂行能力を育成します。

２．教育目標

香川大学法学部では，その教育理念に基づき，開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民，法学的素養を備えた専門職業人を育成します。すなわち，世界の多様性とそこから生ずる諸問題を把握し，その解決に向けての法律学・政治学の基本的理念の知識を適切に用いて自他の尊厳を守ることができる人間を育成します。

３．教育内容

このような教育目的を達成するために，基礎から比較的高度な内容への段階的履修，ゼミナールを中心としたきめの細やかな少人数及び双方向の教育，希望する将来の職業に応じて重点の異なる法律職コース，公共政策コース及び企業法務コースの３コース制による教育を実施しています。

４．入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識及び技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊物事をさまざまな角度からとらえ，筋道を立てて考える能力
＊紛争解決及び政策立案のために必要な論理的な思考力と判断力
＊文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力を持って表現できる能力
＊相手の意見からも学び，議論をリードし発展させることのできる能力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊正義と衡平を追求しそれらを社会に実現しようとする意欲と態度
＊現代社会の動きに常に関心を持ち，書物や新聞を通して，広く社会で生じていることに対する問題意識を深め，自分の意見を形成できる能力

⑤倫理観・社会的責任

＊社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解し，自律的に行動できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学部に入学を希望する人は，入学後の教育に対応できる素質を養うため，高等学校において文系・理系にとらわれない幅広い学習をしてください。高等学校で学ぶことは，大学教育の前提となるものです。まずは国際的な視野とコミュニケーション能力を重視することか

ら，英語及び国語の基礎的な能力を身につけておく必要があります。また法学・政治学は社会科学ですから，地理・歴史あるいは公民など社会科の科目もしっかり学んでください。さらに法学・政治学に必要な論理的思考力は数学・理科の学習によって培われます。万遍なく学んでください。

５．選抜方法の趣旨

○一般入試

＊前期日程

大学入試センター試験では，基礎的な学力をみるために５教科７科目又は６教科７科目（理科の選択科目によっては５教科８科目又は６教科８科目）を課しています。個別学力検査では，論理的思考力を測ることのできる数学又は国際的コミュニケーション能力を測ることのできる英語を課します。

＊後期日程

大学入試センター試験では，基礎的な学力をみるために５教科７科目又は６教科７科目（理科の選択科目によっては５教科８科目又は６教科８科目）を課しています。個別学力検査では，高い論理的思考力と文章によるコミュニケーション能力を持った学生を選抜するため小論文試験を課します。

経 済 学 部

１．教育理念

香川大学経済学部は，経済や経営に関する世界水準の研究教育活動により，創造的で人間性豊かな専門職業人を養成し，地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念とします。学士課程では，豊かな人間性と高い倫理性の上に，幅広い基礎力と経済や経営に関する専門知識や多様な価値や文化に対する深い理解に支えられた課題探究能力を備え，国際的な視野で地域社会において活躍できる進取の気象と共生の精神に富んだ教養豊かな経済人を育成することを目指します。

２．教育目標

経済や経営に関する専門知識を活かし，多様な価値や文化に対する深い理解を背景として，国内外で活躍できる力を身につけます。

【専門分野に対する優れた能力】

経済の仕組み，企業の活動，世界の社会・歴史などに関するさまざまな現象から，自ら課題を発見し，それを探求・解決するための専門的知識を学びます。さらに知識を活かすには実務的な処理能力を兼ね備えている必要があります。理論と応用が有機的に結合した実行力を身につけます。

【経済人としての幅広い視野】

現代社会が求める経済人は，柔軟な視野にたち，コミュニケーション能力を備え，社会と積極的にかかわることのできる人材です。世界の諸文化について幅広い知識を持ち，多様な価値観を理解できるようにします。

【情報を分析し発信する能力】

今日の社会は複雑化した経済情報，国境を越えた世界中のあらゆる情報に満ちあふれています。必要な情報を迅速かつ的確に収集し，分析する能力を身につけるだけでなく，自ら情報を発信する力を身につけます。

３．教育内容

経済学部学生が学ぶ授業科目は，「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は，主に 1 年次の全学学生を対象に開設される教養教育科目です。学部での専門教育を受けるために必要な基礎的学力や学習の方法，他の分野の幅広い知識や考え方を身につけます。

「学部開設科目」は，学部学生を対象に開設する授業科目です。学部開設科目は，課題探求能力や実務処理能力を身につけるための科目であり，各専門分野を体系的に学べるように授業科目を用意しています。学部教育の根幹科目として，3 年次履修の「演習」及び 4 年次履修の「卒業論文」を必修科目としています。

また 2 年次後期からは，各学生は自分の興味・関心・適性，将来の進路等を考慮して，以下の 5 コースのうちからどれか一つを選択し，より専門性を深めるための科目を中心に学んでいきます。

【経済・政策分析コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済学の理論的・実証的手法を体系的に修得し，複雑な経済現象の本質を論理的思考に基づき理解する能力を養います。その上で，幸福な社会の実現に向けた提言を行うための問題発見・解決能力，コミュニケーション能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

公務員，自治体･企業の調査分析部門

【会計・ファイナンスコース】

（学修する内容と身に付ける力）

会計学総論や株式会社会計などの会計学関連科目，金融論や経営財務論などの金融関連科目を学修します。さらに，会計情報を読み解く基礎から応用に及ぶ能力と，金融や保険に関する深い理解力と洞察力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

金融機関，企業における経理部門・財務部門，会計ファイナンスの能力を生かせる官公庁（国税庁など）

【経営・イノベーションコース】

（学修する内容と身に付ける力）

戦略と組織，マーケティング，イノベーション，企業の社会的責任など，経営学に関わる幅広い内容を学修します。また，ビジネスの視点から問題解決にあたり，新たな価値を創造する上で必要となるコミュニケーション能力，課題探求・解決能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

民間企業（製造，卸・小売業），官公庁・金融機関等における創業支援・経営支援の業務，起業

【観光・地域振興コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済学・経営学をベースに，観光学，まちづくり論等により地域振興・経済活性化に向けた観光資源等の活用方策を考える基礎的能力を身につけます。さらに，デジタルマップを用いた調査法やフィールドワークにより，地域振興に必要な実践的能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

公務員（観光振興，地域振興），公益法人等（ＪＡ，生協，商工会議所），観光業，地場産業等の企業

【グローバル社会経済コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済活動の国際的展開と多様な社会現象に対応するため，経済学をベースに世界各地の経済や社会・文化を幅広く学修します。その上で，世界を舞台に活躍するのに必要な問題解決力とコミュニケーション能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

国内外の企業（国際部門など），公益法人（JICA など），NGO，新聞社などのメディア

４．入学者に求める学力・能力・資質等

①知識・技能

＊経済の仕組み，企業の活動，世界の社会・歴史などに関する専門性の高い学問を学び，研究活動を実践するための，高等学校等における幅広い学習に基づいた知識・技能・理解能力

②思考力・判断力・表現力

＊経済・社会におけるさまざまな現象において，解決を必要としている問題を発見・探求し，自分の考えを論理的にまとめて，他者にわかりやすく伝える思考力・判断力・表現力

＊情報伝達の高度化・迅速化が進む社会において，必要な情報を収集・分析し，自ら情報を発信することができる能力

③主体性・多様性・協働性

＊柔軟な視野にたって社会と積極的にかかわり，コミュニケーション能力を備え，多様な価値観を理解できる主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊経済・社会に関するさまざまな現象に興味を持ち，従来の考え方にとらわれず積極的に新しい物事に取り組んでいこうとする関心・意欲・態度

⑤倫理観・社会的責任

＊グローバル化する社会において，地域に根ざしながら世界と連携し共生するために，自己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観を理解し体現する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において学ぶ，英語，数学，国語を中心とした基礎学力を身につけていることが必要です。英語の基礎学力は，大学において，国際的なコミュニケーション能力を本

格的に養うために必要です。数学の基礎学力は，数学的な推理能力や論理的な能力を必要とする専門科目の講義を受けるために必要です。国語の基礎学力は，講義やゼミナールで文献を読んだり，レポートを書いたり，自分の意見を発表するために必要です。また経済・社会に対する関心を高め，論理的思考力を養うために普段から新聞を読んだり，読書習慣を身につけたりすることも重要です。さらに主体性・多様性・協働性を養うために，文化活動，スポーツ活動，生徒会活動，クラブ活動，海外留学体験，ボランティア活動などに励むことも推奨します。加えて，国際的なコミュニケーション能力を養ったり，教養を育んだり，実務的な処理能力を高めたりするために，英語検定，簿記検定，漢字検定などの検定や資格の取得に励むことも推奨します。

５．選抜方法の趣旨

○一般入試

＊前期日程

知識・技能・理解能力を重視することから，大学入試センター試験 5 教科（あるいは 6 教科）の得点を評価します。特に入学後の学習・研究に必要な基礎的学力を評価するため，国語・数学・外国語のうち最も高い点数の教科を傾斜配点します。さらに記述式の英語の試験を行い，思考力・判断力・表現力や国際的なコミュニケーション能力を評価します。

＊後期日程

知識・技能・理解能力を重視することから，大学入試センター試験 5 教科（あるいは 6 教科）の得点を評価します。さらに小論文試験を行い，思考力・判断力・表現力や経済・社会に対する関心・意欲・態度を評価します。特に資料を的確に理解し分析できているかという点と，自分の考えを他者に伝えるために，文章を論理的に構成し，かつ分かり易く表現しているかという点を評価します。

医学部（医学科）

１．教育理念

香川大学医学部医学科は，①幅広い教養と高い倫理観を備えた人間性豊かな医師・医学研究者，②自ら課題を探求し，それを解決できる高度な専門知識と技術，科学的思考力，判断力を備える医師・医学研究者，③地域に根差した医療人として地域医療に貢献し，地域における医学・医療の中核としての指導的役割を担うことができる医師・医学研究者，④国際交流や国際貢献のための幅広いコミュニケーション能力と国際的視野を持った医師・医学研究者を育成することを目指します。

２．教育目標

教育理念に掲げる医師・医学研究者の育成のために，次の能力および態度を養成します。

①医師・医学研究者として適切なコミュニケーションの実践および世界標準の医学・医療に関する情報収集に必要な言語運用能力

②21世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養と医学・医療に関する基礎的知識と技能

③自ら問題点を見出し，解決する能力および生涯を通じて自己主導型学習を実践する態度と習慣

④社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性，医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感

⑤医療・保健・福祉に関する地域理解および地域医療への関心

３．教育内容

教育目標を達成するために，全学共通科目と学部開設科目（専門基礎科目，早期医学，学際医学，基礎医学，社会医学，統合講義等及び臨床医学）から構成される教育課程を編成・実施します。卒業要件単位数は188単位以上とします。

全学共通科目において21世紀型市民としての幅広い教養と社会性・倫理観，地域理解および国際的言語運用能力を育成します。早期医学および学際医学において医学・医療場面で必要となる言語運用能力育成します。専門基礎科学では医学・医療の基盤となる生物学・物理学・化学の基本的知識と技能を，基礎医学，社会医学，統合講義等および臨床医学ではそれぞれの専門領域の医学・医療の基礎的知識と技能を養成します。学部開設科目を通して，医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感および地域治療への関心を涵養します。全学共通科目の大学入門ゼミおよび早期医学における少人数グループワーク，医学研究を体験する早期医学実習および課題実習，臨床医学における医学実習を通して，医学研究および医療現場において必要となる問題解決・課題探求能力を養成します。

階層的カリキュラムを実質化するため，年次ごとの進級要件を定め，年度末に厳格な進級判定を行います。4年次末においては，全国共通の共用試験の合格も進級要件に含まれます。臨床医学の修得に関する評価は6年次に卒業試験として行い，卒業判定に用います。

４．入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊医学の専門知識と技能を習得するための基盤となる，高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能

②思考力・判断力・表現力

＊情報の収集と評価，それに基づく自らの意見形成のための論理的思考力と判断力，及び形成した意見を他者へわかりやすく伝え，実行に移すための表現力

③主体性・多様性・協働性

＊医学に関する問題を自ら抽出し，多面的な視点から考察し，他者と協力して問題解決に当たるために必要な主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊進歩を続ける医学，医療の専門知識と技能に対する関心，生涯にわたりそれを学び続ける意欲，そのために必要な自己主導型学習態度

⑤倫理観・社会的責任

＊尊い人命を預かる医療者として，また，医学と医療の継承と発展を担う医学者として求められる高い倫理観

＊医師・医学研究者としてのみならず社会の一員としても法令や社会的規範を遵守して行動できる社会性

◇大学入学までに修得が期待される内容

理科，数学，英語，国語を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では，生命現象を科学的，論理的に理解し，医学を修めるために必要となる，物理，化学，生物を基礎とした幅広い知識を習得していることが期待されます。英語では，英文教科書や学術論文の読解や論述，国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための基礎的学力を身につけていることが期待されます。国語では，事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し，表現したり，他者とのコミュニケーションを確立するために必要な基礎的学力を身につけていることが期待されます。

５．選抜方法の趣旨

〇一般入試

＊前期日程

大学入試センター試験により，理科，数学，英語，国語，社会の5教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。国語の基礎学力は，考えを論理的に展開したり文章にまとめたり，適切に表現するために必要となります。理科系科目では，物理，化学，生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを個別学力検査で評価します。これらは，生命現象を科学的，論理的に理解し，医学を修めるために欠くことのできない自然科学の学力です。個別学力検査の数学では，論理的思考能力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価します。個別学力検査の英語では，英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を習得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では，医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

＊後期日程

大学入試センター試験により，理科，数学，英語，国語，社会の5教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。特に，理科，数学，英語の基礎学力を重視します。個別学力検査では，物理，化学，生物を基礎とした幅広い理科の知識を修得していること，英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を習得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では，医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

医学部（看護学科）

１．教育理念

香川大学医学部看護学科は，①生命の尊重を基本として，人間に対する高い倫理観と深い思考力をもった看護専門職者，②保健・医療・福祉の進展に柔軟に対応できる科学的判断力と専門技術を備えた看護専門職者，③幅広い視野をもち，地域保健医療や国際貢献の発展に寄与する看護専門職者を育成することを目指します。

２．教育目標

（１） 看護の対象である人間としての権利と自由を尊重し，思考力，判断力，行動力を高めることができる能力を養う。

（２） 看護の問題を総合的に判断し，解決できる基本的な知識及び看護実践能力を養う。

（３） 生涯を通じて自己啓発し，看護を批判的に分析し，建設的・創造的に発展させることができる基礎的能力を養う。

（４） 看護活動を通して教育，研究，管理を担い，及び国際貢献ができる能力を養う。

３．教育内容

教育目標を達成するために，全学共通科目と学部開設科目（専門基礎科目，専門科目，統合実践看護学）から構成される教育課程を編成・実施します。卒業要件単位数は124単位以上とします。さらに保健師課程，養護教諭課程を編成・実施します。

進級要件は，1年次末においては，全学共通科目以外の1年次必修科目を全て修得していることです。2年次末においては，2年次必修科目を全て修得し，かつ，選択科目と全学共通科目を所定の単位以上修得していることです。3年次末においては，3年次必修科目を全て修得していること（3年次編入生は除く）です。

保健師課程は所定の科目を28単位修得していることが国家試験受験資格となり，養護教諭課程は33単位修得していることが資格取得条件となります。

４．入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊看護の対象を包括的に捉え，問題解決するための論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊人々の健康を支援するために看護に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊看護専門職として国内外を問わず社会に発信し，生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

＊尊い人命を預かる看護専門職者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において，英語や理科を中心に基礎学力を身につけておいてください。看護専

門職として，他者の意見や価値観を尊重し，他者を思いやることができるコミュニケーション能力も必要なので，生徒会活動やクラブ活動・ボランティア活動等を通して，幅広い視野と主体性・協働性を養い，自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

５．選抜方法の趣旨

〇一般入試

＊前期日程

知識の総合力を重視することから，大学入試センター試験５教科の得点を評価します。特に，看護学を学ぶために必要な論理的思考力，基礎的学力を評価するために数学，理科を傾斜配点します。さらに，面接で関心・意欲，主体性・論理性・社会性，コミュニケーション能力などを評価します。

医学部（臨床心理学科）

１．教育理念

香川大学医学部臨床心理学科は，①人間に対する高い倫理観と深い思考力をもった人間性豊かな心理援助者，②自ら課題を探求し，それを解決できる基本的な専門知識と技能，科学的思考力と共感的理解力を備えた心理援助者，③多職種連携・協力ができる資質を持ち，心理援助の実践を通して地域住民の福祉の充実発展に寄与すると共に，心理援助の発展に貢献する心理援助者を育成することを目指します。

２．教育目標

教育理念に掲げる心理援助者の育成のために，次の能力および態度を養成します。

① 人間性を尊重した対人支援の態度，共感的コミュニケーション能力および多職種と連携・協働しようとする態度

② 心理臨床の現場において心理援助者が必要とする心理学・臨床心理学の基礎的知識・技能，それに加えて身体と精神が相互に関連していることの理解および心理援助者にとって重要な疾患・障害についての知識

③ 心理臨床の学習・実践において，自ら問題点を見出し解決しようとする問題解決・課題探求能力

④ 心理援助者としての倫理観，使命感，責任感，省察的態度および生涯にわたり研鑽に努める姿勢

⑤ 地域社会における医療・保健，教育，福祉等の現状と課題への関心およびその中での心理援助者の役割についての理解

⑥ 21世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養を踏まえた，社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性

３．教育内容

教育目標を達成するために，全学共通科目と学部開設科目（専門基礎科目，専門科目）から構成される教育課程を編成・実施します。卒業要件単位数は，134 単位以上とします。進級に関する要件はありませんが，「臨床心理学基礎研究Ⅰ・Ⅱ」「心理臨床実習」「臨床心理

学研究Ⅰ・Ⅱ」「チーム医療実習」及び「卒業研究」を受講するには，医学部が定める要件を満たすことが必要です。

講義科目では，心理学・臨床心理学を体系的に学ぶとともに医学の基礎を並行して学習することで，身体と精神が相互に関連していることを理解し，心理援助者にとって重要な疾患や障害についての知識を習得します。「心理学基礎実験」や「心理統計法」などの実験・演習科目では，心の問題に対する実証的な研究法を学びます。さらに，少人数の体験学習による演習科目や学内・学外機関における実習科目によって，人間性を尊重した対人支援の態度や共感的コミュニケーション能力，クライエントや患者を中心として多職種間で連携・協働できる能力を身につけます。

４．入学者に求める学力・能力・資質等

本学科は，「医学の素養を有した心理援助職」の養成を目指して医学部に設置されます。医師・看護師等の医療職の受験資格の取得を目的とした学科ではありませんが，心理学と医学を融合させ，さらに，保健医療分野を中心としながら，福祉，教育，司法・犯罪，産業・労働の各分野での実習・演習科目を含めたカリキュラムを展開し，保健医療に留まらず幅広い分野で，心理学的理解と支援に役立つ教育を行います。

卒業後に取得可能な資格は，認定心理士，児童指導員（任用資格），心理判定員（任用資格）です。職種としては，少年鑑別所法務技官（心理技官），家庭裁判所調査官，児童相談所児童心理司，児童養護施設の児童指導員などが想定されます。加えて，本学科卒業後に心理系の大学院修士課程に進学し，課程を修了すれば公認心理師（国家資格）・臨床心理士（日本臨床心理士資格認定協会）の受験資格が得られます。本学科のカリキュラムには公認心理師の受験資格を取得するために必要な科目等を含みます。

これらを踏まえて，大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊人間の心理を深く理解し支援するための論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

＊他者の気持ちを敏感に感じ取る感受性や共感的コミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊心理的援助に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊人間尊重の態度や深く温かい眼差しを持ち，他者との関わりを通して，自己理解を深め，自らの潜在的な資質を成長させようとする意欲

＊大学卒業後もさらに高度な心理的援助の実践力を身につけ，心理援助者として，地域に貢献し，社会に役に立ちたいという意欲

⑤倫理観・社会的責任

＊人間の健康，適応，成長に関わる心理援助者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

国語，英語，数学を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では，生命や自然現象を科学的，論理的に理解するための幅広い知識の習得が，社会系科目では，人の生活の背景となる文化，歴史，社会に関して多様な視点から把握できる姿勢が期待されます。国語では，事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し，表現したり，他者とのコミュニケーションを確立するための，英語では，英文教科書や学術論文の読解や論述，国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための，数学では，数的処理に基づいた論理的思考力や統計のための基礎的学力を身につけていることが期待されます。

５．選抜方法の趣旨

〇一般入試

＊前期日程

臨床心理学を学ぶために必要な広範囲の基礎学力を大学入試センター試験により評価します。

また，個別学力検査では，国語又は数学，英語，面接を課します。国語又は数学について，国語は考えを論理的に展開したり，文章にまとめたり，適切に表現できる能力を，数学は推理能力や論理的な能力を評価するため，文系と理系の学生を幅広く評価するため選択教科として実施します。英語は大学において，国際的なコミュニケーション能力を本格的に養うために必要となるために実施します。面接では，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協調性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

創　造　工　学　部

１．教育理念

我が国のものづくり産業は「大量生産」「大量消費」の時代から，「ものづくり」さらには「ことづくり」におけるイノベーション創出の時代に変遷しており，人々の多様なニーズに柔軟に対応できる個性豊かで付加価値の高い「もの」や「こと」を創り出す「デザイン思考能力」を有する人材が必要とされています。さらに，「もの」や「こと」が創造的で新しいものであればそれを実現するためには相対的に高いリスクが存在し，また，「もの」や「こと」には平時にのみならず危機に瀕しても価値を発揮することが求められていることから，「リスクマネジメント能力」を有する人材も必要とされています。創造工学部は，これらの能力を備えた「次世代型工学系人材」を輩出するため，以下のような教育理念を定めています。

香川大学創造工学部では，人間とその生活を取り巻く自然に焦点を当て，人間と自然が調

和的に共生できる文化・安全・産業の創造を目指し，専門的基礎能力に裏打ちされた幅広い工学のバックグラウンドを持ち，国際社会で尊敬される良き市民としての個性豊かな技術者を育成します。

２．教育目標

創造工学部では，以下の素養を育成することを目標としています。

1）専門分野を問わず工学系人材として必要な数理的基礎力

2）高い倫理観とそれに裏打ちされた対人コミュニケーション力及び異文化コミュニケーション力

3）地域を理解し，地域と協働して価値の創造を行う力

4）審美力，多様性理解力，企画力,プロトタイピング力などを統合したデザイン思考能力

5）様々なリスクを把握･抽出し事前に対応策を講ずるとともに，想定外の事態にも対応できるリスクマネジメント能力

３．教育内容

創造工学部生が学ぶ科目は，「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は，全学生を対象に開設する科目で，人間的教養を高めるための教養教育科目です。１年次生を対象に大学の勉学に必要なスキルなどを少人数で学ぶ大学入門ゼミとＩＴ社会において必要な能力を身につける情報リテラシー，現代社会の課題・問題を学ぶ主題科目などからなります。

「学部開設科目」は，各学部生を対象に開設する科目で，工学の専門家としての素養を身につけるための科目です。「学部開設科目」は，エンジニアとしての倫理観，コミュニケーション能力，デザイン思考能力，リスクマネジメント能力などを身につけるための学部共通科目と，それぞれの分野の専門を深めるための専門科目に大別されます。

創造工学部は,「文化の創造」「安全の創造」「産業の創造」を担う人材が備えるべき専門性を育成するため７つのコースを開設します。各コースは以下に掲げる人材を育成するため，それぞれの特性を持った「専門科目」を提供します。

【造形・メディアデザインコース】

香川県は，美術・建築・工芸等の分野で，瀬戸内の自然や風土に育まれた優れた伝統・文化を持ちます。その価値を，今日的視点で多角的に研究・継承し，芸術的視点で統合しながら，工業製品・情報メディア等の造形・デザイン・制作に貢献できる創造的な人材を育成します。実践的なカリキュラムによって，優れたコミュニケーション能力，表現力を育成し，工業製品のデザイン，情報メディア・コンテンツのデザインに貢献できる人材を育成します。

【建築・都市環境コース】

少子高齢化や地方経済の衰退が進行するなかで，地域の限られた人的及び物的資源を活用し，安全・安心で快適に暮らすことができる地域社会の構築を目指し，建築，土木，環境等の関連分野を俯瞰し，これらを活かした質的価値の高い“くらし”をデザインできる技術者を養成します。関連分野の基礎知識の習得に加えて，地域固有の自然環境や歴史文化，社会基盤，種々の建築物など社会を構成している諸要素に関する多様な技術を学び，

資格を取得できます。

【防災・危機管理コース】

日本は首都直下地震や南海トラフ巨大地震のような国難といえる巨大自然災害だけでなく，国を超え地球規模の様々な危機にも直面しています。また，現在のようなグローバル化した世界では，ある地域の災害や事変が世界を震撼させる可能性もはらんでいます。本コースでは，地域の強みと弱みをよく知り，経験だけでなく人類や地球の歴史からも学び，何が脅威になるかという予見能力を持ち，ハードウェア，ソフトウェアとヒューマンウェアを組み合わせて，危機を未然に防止し，防止できないときには危機が災害に，災害が破局に拡大しないように対処できる人材を育成します。

【情報システム・セキュリティコース】

ネットワークの急速な発展により世界中の情報システムは相互に接続されグローバル化しており，ユーザーフレンドリーでかつサイバー攻撃への耐性など高いセキュリティを持つ情報システムが求められています。本コースでは，このような要求に応えるために，グローバルなネットワークを利用するクラウドやビッグデータなどを対象とする情報システム技術，高い信頼性や安全性を確保するセキュリティ技術，利用者の立場で情報システムを設計できるヒューマンインタフェース技術を身につけ，地域，日本，世界からの情報システム・セキュリティのニーズに対応した情報システム設計ができる人材を育成します。

【情報通信コース】

インターネットとモノとが混然一体となったシステムが構築される IoT（Internet of Things）が注目されています。本コースでは，IoTの基盤技術である電子回路・通信・セキュリティ技術を身につけ，電子機器・情報通信機器の開発ができる人材を育成します。さらに，地域において必要とされる電力または通信関連の技術開発・システム運用を担うことができ，そこからグローバルに活躍できる人材を育成します。

【機械システムコース】

社会に貢献できる「付加価値」のある製品やサービスの提供を目指し，「先端的なものづくり」をリードする高度な機械系技術者を養成します。 機械工学の基礎として解析力，力学，制御技術，設計・製図を身に付け，その上で，高度な機械システムを形成するために必要な電気電子，情報分野の知識についても学びます。そのため，自動車，電機，情報，鉄鋼，医療機器など機械システムが関わる様々な分野で技術者として活躍できます。

【先端マテリアル科学コース】

物質に対する化学や物理の理解を深めることは，マテリアル科学の基礎であり，安心・安全で持続可能な社会の実現と省エネルギー・省資源化に貢献する先端材料開発に不可欠です。当コースでは「環境材料化学」・「機械材料科学」・「光・電子材料科学」の三分野にわたる幅広い教育研究を実践します。さらに，多面的・全体的な視野を養うデザイン思考教育とマテリアルにかかわるリスクマネジメント能力を養う教育を採り入れて，地域や社会のニーズに応えながら未来の社会を構築する人材を育成します。製造業，化学，金属，素材メーカー，電気・電子部品等，様々な分野で活躍が期待されます。

４．入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている人を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における国語，外国語，数学，理科などを中心に，幅広い学習に裏付けされた本学部の専門領域を学ぶために必要な基礎学力・技能

②思考力・判断力・表現力

＊本学部の専門領域の分野を多角的かつ包括的に捉え，それぞれの問題を解決するための論理的思考能力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊物事を多面的な視点から思考し，自分の考えを他者からもわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊本学部の専門領域のいずれかの分野に興味関心を持って自ら積極的かつ継続的に課題に取り組む意欲と審美眼を持ち，身につけた知識・技術を分かりやすく表現し，共生環境創造，地域社会創造及び国際社会に役立てる意欲・態度

＊技術者として国内外を問わず社会に発信し，生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

＊本学部の専門領域における技術者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において，国語，外国語，数学，理科などを中心に基礎学力を身につけておいてください。本学部の理念を理解し，技術専門職として，他者の意見や価値観を尊重し，他者を思いやることができるコミュニケーション能力も必要ですので，生徒会活動やクラブ活動・ボランティア活動等を通して，幅広い視野と主体性・協働性を養い，自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

５．選抜方法の趣旨

〇一般入試

＊前期日程

多様な能力・志向を持つ学生を確保するため，試験科目の組み合わせとして，高等学校等で理系科目を中心として履修した人を対象とするもの（Ａタイプ），必ずしもそれに当てはまらない場合でも本学部の教育に興味がある人を対象とするもの（Ｂタイプ）の２種類を用意しています。造形・メディアデザインコース及び防災・危機管理コースを希望する人については，Ｂタイプも選択できます。前期日程では，従来の文系理系の枠にとらわれない広い視点に基づく創造工学を目指す学生を求めるために大学入試センター試験では５教科７科目（Ｂタイプ志願者は，理科の選択科目によっては５教科６科目）を課しています。個別学力検査では，基礎的な理数系科目（数学，物理，化学）から１科目を課しており，Ｂタイプの造形・メディアデザインコース志願者は総合問題を，防災・危機管理コース志願者は地学も選択できます。

＊後期日程

後期日程では，科学技術に関するさまざまな問題に対する判断力や対応能力，将来国際社会で活躍するための基礎的能力などを総合的に問います。そこで，大学入試センター試験では，５教科７科目を課しています。また，個別学力検査では「21世紀にあるべき工学」を学ぶために必要な資質，能力などを問うことを目的とした小論文を課しています。

農　学　部

１．教育理念

香川大学農学部は，先端的かつ総合的な生物科学を基礎に，自然と調和した安全で快適な地域社会を実現するための教育と研究を行い，豊かな人間性と国際的な視野，課題探求能力を備え，生物資源の生産と活用に関する科学と技術を総合的に理解し，生物科学を基盤とする産業界で幅広く活躍できる有為な人材を養成することを目指します。

２．教育目標

香川大学農学部では，生物資源の生産と活用に関する幅広い知識と技能を身につけ，科学的な思考に基づく課題設定力，国際感覚を備えた判断力及びコミュニケーション力を備え，多様で広範な社会の諸課題の解決に向けて柔軟な思考によって取り組むことのできる「農学の実践力」を持って国際的協働社会の一員として自覚的に行動出来る人材を育成します。

３．教育内容

農学部生の履修する授業科目は「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は幅広い教養を身につけるために全学学生を対象に開設された授業科目であり，「主題科目」「大学入門ゼミ」「情報リテラシー」「学問基礎科目」「健康・スポーツ実技」「高学年向け教養科目」「外国語科目」の７つの区分があります。「学部開設科目」には専門の基礎固めのための「導入科目」と「共通基礎科目」，高度な専門性を身につけるための「コース専門科目」，さらに社会的課題などに視野を広げるための「共通展開科目」を設けています。

農学部は応用生物科学科の１学科制を採用しています。入学後，まず学部共通の導入科目と共通基礎科目を履修し，生物科学の基礎を身につけます。この間に，自らの学習の方向性と適性を把握し，２年後期からは以下の５つのコースに分かれ専門科目を履修し，学修を体系的に完成させます。

１）応用生命科学コース

近年の生命科学やバイオテクノロジーのめざましい発展により，生命現象や生物が作る物質の特性や機能を分子レベルで解明して利用することが可能になってきました。応用生命科学コースでは，微生物から高等動植物までの様々な生命活動を分子・遺伝子レベルで明らかにする生命科学の基礎から，その成果を有用生物の開発や生物資源の有効利用へと役立てるための応用技術まで幅広く学ぶことができます。

２）生物生産科学コース

21 世紀の豊かな社会の発展に求められる安全で安定的な食料供給と，生活に潤いをもたらす園芸資源の生産開発をめざして，遺伝子資源の評価と品種改良，生産技術・環境や生産

物の流通・利用システムなどを，フィールドからバイオまで体系的かつ実践的に学びます。基礎から応用までの理論を体系的に学習し，連携した実験やフィールド（農場）実習を通して自ら検証できるユニークな教育体制を有しています。

３）環境科学コース

生物と環境との相互作用，環境中の物質循環について学ぶことができます。特に里海・里山・身近な水辺を主な対象として，化学的・生物学的手法をはじめとする様々な分野の手法と理論を活用し，フィールドおよび実験室で調査解析に取り組みます。さらに，環境問題や生物の利用・管理・保全に対して実践的に取り組む力を身につけます。

４）生物資源機能化学コース

生体の様々な機能を物質レベルで理解し，多様な生物資源の効率的な利用法の開発に必要とされる基礎的知識の修得を目標とします。特に，有用な機能を持つ生物由来の化学物質の探索法，それらの生成・作用メカニズムや分子構造を解明するための化学的手法，さらに再生産可能資源としてのバイオマスの高度利用法について重点的に学びます。

５）食品科学コース

食品の持つ人間に対する種々の生体調節機能を化学的に理解し，（１）食品の機能性（２）安全性（３）嗜好性・加工特性について学びます。講義と実験・実習（学外の工場又は研究所見学なども含む。）を組み合わせ，基礎から応用，そして実践的内容のカリキュラムで，安全で，機能性が高く，様々な嗜好性に対応できる食品を開発できる人材の育成を行っています。

４．入学者に求める学力・能力・資質等

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために必要な知識・技能及び基礎知識

②思考力・判断力・表現力

＊課題解決へ向けた柔軟な思考力，論理的思考・判断力と自分の考えを的確に伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊地域社会や国際社会における生物資源の生産・利用に関する多様で広範な諸課題を積極的かつ主体的に探求し，他者と協働して課題を解決するコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊生物と生物資源の生産及びその有効利用並びにそれらの基盤となる生命現象に強い関心を持ち，関連する様々な課題に積極的・主体的に取り組もうとする高い意欲

＊生物関連産業での活躍を希望し，応用生物科学の様々な分野の専門知識や技術を意欲的に修得しようとする態度

⑤倫理観・社会的責任

＊生物資源の生産と利用を進めながら，自然と調和した安全で快適な社会の実現をめざす高い倫理観と社会的責任を理解する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校において，理科，数学，国語，英語を中心とした基礎学力を身につけておいてください。先端的かつ総合的な応用生物科学を理解し，生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために理科と数学の基礎学力が必要となります。農学部では，生物資源の生産と利用に関する情報を理解し，自らの論理的思考及び判断をもってこれを説明できるプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養うことを目標としています。これらを日本語だけでなく英語でも可能にするために国語と英語の基礎学力が必要です。

５．選抜方法の趣旨

○一般入試

＊前期日程

高等学校における教科面での学習の達成度をみるために大学入試センター試験５教科７科目の得点を評価します。個別学力検査では，農学部における勉学の素地として自然科学を重視し，数学と理科から１教科１科目選択とします。

＊後期日程

高等学校における教科面での学習の達成度をみるために大学入試センター試験３教科５科目の得点を評価します。農学を学ぶために必要な基礎的学力を評価するために理科を傾斜配点します。個別検査では面接を行い，志望動機と農学部で勉学する意欲を確認し，自然科学に関する関心・意欲・興味，論理的思考力と自分の考えを的確に伝える表現力ならびに倫理観・社会的責任を評価します。

Ⅱ　募集人員

学部	学科・課程・コース等		募集人員（人）		
			前期日程		後期日程
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	6		2
		小学校教育コース	60		18
		中学校教育コース	A系	13	7
			B系	7	
			C系	5	
	計		91		27
法学部	(昼間コース) 法学科		75		35
	計		75		35
経済学部	(昼間コース) 経済学科		110		35
	計		110		35
医学部	医学科		59		25
	看護学科		35		
	臨床心理学科		20		
	計		114		25
創造工学部	創造工学科	造形・メディアデザインコース	184 （Aﾀｲﾌﾟ 167 Bﾀｲﾌﾟ 17）		49
		建築・都市環境コース			
		防災・危機管理コース			
		情報システム・セキュリティコース			
		情報通信コース			
		機械システムコース			
		先端マテリアル科学コース			
	計		184		49
農学部	応用生物科学科		105		15
	計		105		15
合計			679		186

備考

【教育学部】

１．学校教育教員養成課程　中学校教育コース　前期日程では，Ａ系，Ｂ系，Ｃ系の３系ごとに試験を実施します。

系は個別学力検査等における教科・科目等の区分を表すもので，Ａ系が国語又は外国語，Ｂ系が数学又は理科，Ｃ系が実技検査（音楽，美術，保健体育からいずれか１つ選択）です。

２．学校教育教員養成課程は，下記のとおり志望順位をつけて第２志望までを志願することが可能です。

前期日程	①　幼児教育コースと小学校教育コース ②　小学校教育コース（国語又は外国語受験者）と中学校教育コースＡ系 ③　小学校教育コース（数学又は理科受験者）と中学校教育コースＢ系 ④　小学校教育コース（実技検査受験者）と中学校教育コースＣ系
後期日程	①　幼児教育コースと小学校教育コース ②　小学校教育コースと中学校教育コース

３．学校教育教員養成課程には，次のコース・領域があります。

課程	コース	領域
学校教育教員養成課程	幼児教育コース	
	小学校教育コース	教育領域，心理領域，生活・総合領域， 特別支援教育領域， 国語領域，社会領域，数学領域，理科領域，音楽領域，美術領域，保健体育領域，技術領域，家庭領域，英語領域
	中学校教育コース	国語領域，社会領域，数学領域，理科領域，音楽領域，美術領域，保健体育領域，技術領域，家庭領域，英語領域

４．領域への所属は２年次からです。

個別学力検査等で選択した受験教科・科目及び系は，２年次からの領域の選択とは関係しません。

【医学部】

医学科の一般入試（前期日程）における募集人員59人には，「地域医療推進枠」９人を含みます。なお，「地域医療推進枠」においては，著しく成績が悪い場合，定員に満たないことがあります。

【創造工学部】

創造工学科前期日程では，ＡタイプとＢタイプの２タイプの試験があります。Ａタイプは全コース（７コース）へ志願することが可能で，志望順位をつけて第７志望まで志願できます。Ｂタイプは造形・メディアデザインコースと防災・危機管理コースのいずれかへ志願することができます。

創造工学科後期日程では，志望順位をつけて第７志望まで志願できます。

創造工学部の受入人員の目安は以下のとおりです。

（人）

学科	コース	受入人員の目安	前期Aタイプ	前期Bタイプ	後期
創造工学科	造形・メディアデザイン	30	13	12	5
	建築・都市環境	39	33	0	6
	防災・危機管理	15	7	5	3
	情報システム・セキュリティ	29	24	0	5
	情報通信	30	24	0	6
	機械システム	48	36	0	12
	先端マテリアル科学	42	30	0	12
合計		233	167	17	49

（注）受入人員の目安は入学定員ではありません。

【その他】

入学定員に欠員が生じた場合には，追加合格及び欠員補充第２次募集を行うことがあります。

Ⅲ　出願について

１．出願資格

入学を志願できる者は，次の各号のいずれかに該当し，かつ，平成30年度大学入試センター試験のうち，本学が指定する教科・科目（34ページ以降参照）を本学が指定した方法で受験した者とします。

なお，本学では大学入試センター試験の過去の成績は利用しませんので，本年度行われる大学入試センター試験を必ず受験してください。

（１）　高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び平成30年３月卒業見込みの者

（２）　通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年３月修了見込みの者

（３）　学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年３月31日までにこれに該当する見込みの者

ア　外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ウ　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ　文部科学大臣の指定した者（昭和23年５月31日文部省告示第47号）

オ　高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格（合格見込みを含む。）した者で，平成30年３月31日までに18歳に達するもの（※１）

カ　大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定（平成17年４月廃止）に合格した者

キ　学校教育法第90条第２項の規定により他の大学に入学した者であって，本学において，大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

ク　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，平成30年３月31日までに18歳に達するもの（※２）

※１　高等学校卒業程度認定試験において合格点を得ていても，平成30年３月31日までに18歳に達しない者は，出願資格がありません。

※２　出願資格の「ク」により出願する者は「事前審査」を行いますので，62ページ「12　出願資格審査について」に従って手続を行ってください。

（注）　医学部医学科の地域医療推進枠に出願できる者は，上記の出願資格に該当し，かつ，「地域医療推進枠」で出願し合格した場合は，次の要件すべてを満たして入学を確約でき

る者に限ります。

なお，地域医療推進枠に出願する者は，通常の一般入試（一般枠）を併せて出願することができます。

① 四国各県及び岡山県内の高等学校を卒業した者又は平成30年３月までに卒業見込みの者

② 「香川県医学生修学資金」の貸付けを受ける意思のある者

③ 将来，香川県が別途定める医療機関（香川県内の公立病院等）で一定期間（９年間）医師の業務に従事する意思のある者

２．出願手続

〔１〕 出願期間

平成30年１月22日（月）10時から１月31日（水）17時まで

（注）１月15日（月）10時からインターネット出願サイトへの入力（出願内容の下書き保存）が可能です。

〔２〕 出願方法

①　インターネット出願サイトにアクセス　　１月15日(月) 10時　から

インターネット出願サイト（四国地区国立５大学　出願サイト）

https://shikoku.applyjapan.com/login/application

にアクセスし，ユーザー登録を行ってください。

※出願サイトにアクセスできるのは，１月15日（月）10時からです。
※接続状態が不安定なスマートフォン，タブレットではインターネット出願が完了できない場合があります。利用環境が安定しているパソコンでの出願を推奨します。

②　入力～出願

画面の指示に従って，下記手順のとおり間違いのないよう入力してください。
１月15日（月）から１月21日（日）までの間に入力した内容は下書きとして保存できます。出願登録は１月22日（月）10時から可能です。

入試方式・学部の選択 → 個人情報の入力 → （医学部医学科地域医療推進枠志願者のみ）地域医療推進枠志願理由書の入力 → 出願内容の確認

③　検定料の支払い　　１月22日(月) 10時　から

検定料：17,000円

１月22日（月）10時から１月31日（水）17時までの間に，決済画面で以下の支払い方法から一つを選択して支払手続を行ってください。

１．利用できるクレジットカード　　２．銀行ATM（Pay-easy）

３．利用できるコンビニエンスストア

※手数料は無料です。
※クレジットカードの名義は志願者と同一である必要はありません。支払い方法は一括払いのみです。
※払込済の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。
① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
※入学検定料の支払い後は，入力内容の変更ができませんのでご注意ください。
※入学検定料の支払い後は，④入学願書等の印刷，⑤書類の郵送及び⑥受験票の印刷を必ず行ってください。

④ 入学願書等の印刷

登録完了画面から入学願書及び宛名票を印刷してください。
医学部医学科地域医療推進枠志願者は，地域医療推進枠志願理由書を併せて印刷してください。

⑤ 書類の郵送　　１月31日（水）17時必着

印刷した宛名票を角形２号封筒（郵送書類を折らずに入れられるサイズの封筒）の表面に貼付してください。
29ページ〔４〕郵送が必要な出願書類等が全て揃っていることを確認して，**１月31日（水）の17時までに必着**するよう，**簡易書留・速達郵便**で郵送してください。
なお，最終日１月31日（水）の９時から17時までに限り，郵送が必要な出願書類等の持参を認めます（12時から13時を除く）。

宛名票が印刷できない場合は，角形２号封筒に下記内容を記載してください。

（宛先）　〒760－8521
高松市幸町１番１号
香川大学入試グループ　行

＊〔１〕志願者氏名　〔２〕郵便番号　〔３〕住所　〔４〕志望学部　〔５〕入試区分を必ず記入してください。

注意	インターネット上に登録しただけでは正式な出願とはなりません。 登録完了後，出願書類を出願期間内に本学に郵送することで出願完了となります。１月31日（水）の17時以降に到着した場合は，１月29日（月）までの消印があり，かつ「簡易書留・速達」であるものに限り受け付けます。

⑥ 受験票の印刷

インターネット出願サイトにログインし，受験票をダウンロードし，印刷してください。
印刷した受験票は大切に保管し，学力検査当日に持参してください。

＊ダウンロード可能期間は以下のとおりです。

【前期日程】　２月５日（月）10時 ～ ２月26日（月）17時
【後期日程】　２月５日（月）10時 ～ ３月12日（月）17時

インターネット出願の操作等に関する不明点は，次の連絡先に問い合わせてください。

四国国立５大学インターネット出願専用コールセンター

ＴＥＬ　082-545-4855

受付時間　平成30年1月22日（月）～1月31日（水）　10時から18時まで（土日含む）

〔3〕インターネット出願で入力する項目

下表の①～③と，該当者のみ④，⑤を入力してください。

（全員が入力するもの）

番号	入力項目	注意事項	チェック欄
①	入試方式・学部の選択	志望する入試方式と学部を選択してください。	
②	出願者の基本情報	必要事項を入力してください。	
③	出願者の写真	出願以前6か月以内に撮影した正面，上半身無帽の画像データ(JPEG形式)が必要です。 **登録する顔写真の規格** 下記の規格を満たす写真であれば，スマートフォン・デジカメ等で撮影したものでもかまいません。 ・カラー　・出願前6ヶ月以内に撮影した写真であること ・志願者本人のみ写っているもの　・正面向き，上半身(胸から上，顔がはっきりわかるもの)，無帽，無背景であること(顔に影がないもの) ・目元輪郭を隠していないこと　・ピントが合っていて鮮明であること ・画像に加工を施していないこと　・ファイル形式:JPEG ・ファイルサイズ10MB以内　・縦:320ピクセル以上，横:240ピクセル以上 ※縦4:横3で登録する必要があります。そうでない写真は出願サイト内でサイズ編集できます。 ・証明写真の再撮影のアップロードは避けてください。	

（上記の他に該当者が入力するもの）

医学部(医学科・看護学科・臨床心理学科)志願者			
④	志願者履歴書	高等学校を卒業している者は卒業から現在までの経歴について詳細に入力してください。自宅学習及び予備校学習も入力し，空白期間を作らないでください。 大学に在学中の者又は在学したことがある者は，大学・学部・学科名及びその在学期間を入力してください。 高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は，最終学歴から現在に至るまでの経歴を詳細に入力してください。	

医学部医学科　地域医療推進枠志願者			
⑤	地域医療推進枠志願理由書	以下のことについて，800字以内で入力してください。 あなたは，なぜ地域医療推進枠を志願しようと思いましたか。地域医療に関してどのような興味を持っていますか。また，将来どのような地域医療に関わりたいと思っていますか。	

〔４〕郵送が必要な出願書類等

インターネット出願で入力及び検定料の支払いを行った後，下表の①～③と，該当者のみ④～⑥を郵送してください。

（全員が提出するもの）

	出願書類等	注意事項	チェック欄
①	入学願書	出願手続完了後，入学願書をダウンロードして印刷してください。	
②	大学入試センター試験成績請求票	入学願書の所定の欄に，「平成 30 センター試験成績請求票（前期日程用又は後期日程用）」を貼付してください。	
③	調査書等	1．高等学校を卒業した者及び平成 30 年3月までに卒業見込みの者は，出身学校長が作成し，厳封したものを提出してください。	
		2．高等専門学校第3学年修了者及び修了見込みの者並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者については，出身学校において文部科学省所定の調査書に準じて作成された書類をもって調査書に代えることができます。	
		3．外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの，国際バカロレア資格取得者，アビトゥア資格取得者，バカロレア資格（フランス共和国）取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者については，当該試験等の成績証明書等をもって調査書に代えることができます。	
		4．高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は，当該試験の合格証明書（「合格(見込)成績証明書」を含む。）をもって調査書に代えることができます（科目合格証明書，合格証書は不可。）。 なお，高等学校に在学したことがある者は，在学期間中の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。	
		出身学校の事情（廃校，被災，文書保管期間の超過等の理由）により調査書が得られない場合は，卒業証明書及び成績証明書又は単位修得証明書，成績通信簿等をもってこれに代えることができます。なお，旧姓 （名）で作成された証明書等を使用する場合は，「婚姻により（旧姓）から（現姓）になった」などのように，姓（名）が変更になった理由を証明書等の余白に記入してください。詳細については，香川大学入試グループまで問い合わせてください。	

（上記のほかに該当者が提出するもの）

医学部（医学科・看護学科・臨床心理学科）志願者			
④	志願者履歴書	志願者履歴を入力した者は，出願手続完了後，志願者履歴書をダウンロードして印刷してください。	

医学部医学科　地域医療推進枠志願者のみ			
⑤	地域医療推進枠志望理由書	出願手続完了後，地域医療推進枠志望理由書をダウンロードして印刷してください。	

教育学部 実技試験（音楽）志願者のうち以下に該当する者			
⑥	移調楽譜 （伴奏譜を含む）	教育学部 実技試験（音楽）志願者のうち，歌曲のウ・カを希望する者は，移調楽譜1部（伴奏譜を含む）を提出してください。	

〔５〕 出願上の注意事項

（１） 併願について

志願者は，前期日程で試験を実施する大学・学部から１つ，後期日程で試験を実施する大学・学部から１つ，公立大学中期日程で試験を実施する大学・学部から１つ，合計３つの国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）に出願することができます。いわゆる「前期－前期」，「後期－後期」のそれぞれの組み合わせの併願はできません。

※公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/nyushi）参照

（２） 推薦入試による合格者の取扱い

既に国公立大学・学部の推薦入試に合格している者は，当該推薦入試を実施する大学・学部の定める手続により入学の辞退を許可された場合を除き，本学及び他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。

（３） AO入試による合格者の取扱い

既に国公立大学・学部のAO入試に合格している者は，当該AO入試を実施する大学・学部の定める手続により入学の辞退を許可された場合を除き，本学及び他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。

（４） 前期日程試験による合格者の取扱い

本学又は他の国公立大学の前期日程に合格し，平成30年３月15日（木）までに入学手続を完了した者は，後期日程を受験しても，その合格者とはなりません。

（５） 学内併願について

本学の異なる日程の学部間又は同一学部への併願は可能です。

（６） 出願書類等について

１．出願書類が不備の場合は受理できません。

２．出願書類提出後は，記載内容の変更を認めません。

３．払込済の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 医学部医学科及び臨床心理学科における第１段階選抜で不合格になった場合，本人の申出により13,000円を返還します（この場合の手続方法については，第１段階選抜結果を発表する際に該当者に通知します。）。

④ 願書受理後、本学が課している大学入試センター試験の教科・科目を受験していないため，個別学力検査等を受験できないことが判明した場合，該当者には検定料の返還方法について通知します。その後，本人の申出により13,000円を返還します。

上記①又は②に該当される方は，香川大学入試グループへご連絡ください。

３．選抜方法

入学者の選抜は，大学入試センター試験と本学が実施する個別学力検査等の成績及び調査書の内容等を総合して行います。

《合否判定基準等》

・　総合点により合否を判定します。
・　教育学部学校教育教員養成課程では，24ページのとおり第２志望までのコースの志願を認めます。この場合，高得点者から，志望順位により合格となるコースを振り分けます。
・　創造工学部前期日程Aタイプ及び創造工学部後期日程では，全コース（７コース）に志願することが可能で，志望順位をつけて第７志望までのコースに志願できます。この場合，高得点者から，志望順位により合格となるコースを振り分けます。創造工学部前期日程Bタイプでは，造形メディアデザインコースと防災・危機管理コースのいずれかに志願することができます。
・　医学部医学科前期日程では，面接の結果をもって不合格となることがあります。これに加え，地域医療推進枠では，香川県による面接の結果を参考として合否を決定します。

　なお，地域医療推進枠においては，著しく成績が悪い場合，定員に満たないことがあります。
・　医学部看護学科及び臨床心理学科前期日程では，面接の結果をもって不合格となることがあります。
・　医学部医学科後期日程では，小論文又は面接の結果をもって不合格となることがあります。
・　その他，各学部での選抜方法等については，〔１〕大学入試センター試験の利用教科・科目等，〔２〕個別学力検査等の実施教科・科目等の注意欄等を参照してください。

《大学入試センター試験及び個別学力検査等の取扱いについて》

・　本学が課している大学入試センター試験の教科・科目を本学が指定した方法で受験していない場合は，個別学力検査等を受験することができませんので，注意してください。
・　大学入試センター試験の外国語で『英語』を選択する受験者は，必ず「筆記」と「リスニング」の両方を受験してください。

両方を受験していない場合は，個別学力検査等を受験することができません。

ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

・　本学が課している大学入試センター試験及び個別学力検査等の教科・科目を受験していない場合は，本学の合格者とはなりません。

〔１〕 大学入試センター試験の利用教科・科目等

大学入試センター試験の利用教科・科目及び利用方法は，別表（34～50ページ）のとおりです。

大学入試センター試験において，「地理歴史」及び「公民」並びに「理科②」の試験時間に２科目受験する場合は，解答順に前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とします。

〔２〕 個別学力検査等の実施教科・科目等

個別学力検査等の実施教科･科目等及び学部ごとの選抜方法は，別表（34～50ページ）のとおりです。

出願後は，選択した科目を変更することはできません。

〔３〕 ２段階選抜（医学部　医学科，臨床心理学科）

医学部医学科及び臨床心理学科においては，入学志願倍率が次の倍率を超えた場合に２段階選抜を実施します。

日程／学科	前期日程	後期日程
医　学　科	約５倍	約12倍
臨床心理学科	約６倍	

第１段階選抜は，大学入試センター試験の成績（前期日程・後期日程の選抜における配点）及び調査書の内容により行います。

第１段階選抜の合格者の発表については，56ページ「５　合格者発表〔１〕第１段階選抜合格者の発表」をご覧ください。

第１段階選抜の合格者を対象に個別学力検査等を実施し，最終的な合格者を決定します。

別表　大学入試センター試験の利用教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目等について（一般入試）

【教育学部】

<table>
<tr><th rowspan="2">学科等名</th><th rowspan="2" colspan="2">学力検査等の区分</th><th colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th><th colspan="3">個別学力検査等</th></tr>
<tr><th>教科</th><th>科目名等</th><th>教科等</th><th>科目名等</th><th>2段階選抜</th></tr>
<tr><td rowspan="2">学校教育教員養成課程
幼児教育コース・小学校教育コース</td><td colspan="2">前期日程</td><td rowspan="6">国

地歴

公民

理

数

外</td><td rowspan="6">『国語』　必須
（「世Ａ」，「世Ｂ」，「日Ａ」，「日Ｂ」，「地理Ａ」，「地理Ｂ」）から１又は２科目
（「現社」，「倫」，「政経」，『倫・政経』）から１科目
｝から１又は２科目
(1)（「物基」，「化基」，「生基」，「地学基」）から２科目
(2)（「物」，「化」，「生」，「地学」）から１科目
(3)（「物基」，「化基」，「生基」，「地学基」）から２科目並びに（「物」，「化」，「生」，「地学」）から１科目
(4)（「物」，「化」，「生」，「地学」）から２科目
｝(1)〜(4)のいずれか
｝から３科目（理科で(1)又は(3)を選択する場合は４科目）
『数Ⅰ・数Ａ』　必須
（『数Ⅱ』，『数Ⅱ・数Ｂ』，『簿・会』，『情報』）　から１科目
（『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』）　から１科目
〔５教科７科目又は６教科７科目（理科で(1)又は(3)を選択する場合は５教科８科目又は６教科８科目）〕</td><td>国
外
数
理
実技検査</td><td>『国語』
『英語』
（『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ａ・数Ｂ』又は『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ』）
（『物基・物』，『化基・化』，『生基・生』，『地学基・地学』から１科目選択）
（「音楽」，「美術」，「保健体育」から１つ選択）
｝から１教科
〔１教科１科目〕</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">後期日程</td><td>その他</td><td>小論文</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">学校教育教員養成課程
中学校教育コース</td><td rowspan="3">前期日程</td><td>Ａ系</td><td>国
外</td><td>『国語』
『英語』
｝から１教科
〔１教科１科目〕</td><td></td></tr>
<tr><td>Ｂ系</td><td>数
理</td><td>（『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ａ・数Ｂ』又は『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ』）
（『物基・物』，『化基・化』，『生基・生』，『地学基・地学』から１科目選択）
｝から１教科
〔１教科１科目〕</td><td></td></tr>
<tr><td>Ｃ系</td><td>実技検査</td><td>（「音楽」，「美術」，「保健体育」から１つ選択）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">後期日程</td><td>その他</td><td>小論文</td><td></td></tr>
</table>

（注）【学科等名】，【学力検査等の区分】欄

学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程は，Ａ，Ｂ，Ｃの３系別に募集します。

系は個別学力検査等における教科・科目等の区分を表します。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

1　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『　』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ａ』・・・１科目，『簿・会』・・・１科目）

2　地歴及び公民については，「世界史Ａ」「世界史Ｂ」「日本史Ａ」「日本史Ｂ」「地理Ａ」「地理Ｂ」から１又は２科目，「現代社会」「倫理」「政治・経済」『倫理，政治・経済』から１科目までの成績を用います。

3　地歴，公民，理科の利用科目等は次のとおりです。（右表「大学入試センター試験の配点等」参照）

●地歴，公民で指定した科目から１科目選択する場合は，理科は(3)又は(4)を選択してください。なお，理科で(3)を選択する場合には，同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

●地歴，公民で指定した科目から２科目選択する場合は，理科は(1)〜(4)のいずれかを選択してください。

●地歴，公民について指定した科目から２科目並びに理科について(3)により３科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。

ア．地歴，公民の第１解答科目　・・・・　１科目
イ．地歴，公民の第２解答科目
ウ．理科の基礎を付した科目（２科目の合計）
エ．理科の基礎を付さない科目
｝イ〜エのうち高得点順に２科目（ウを用いる場合は３科目）
｝３科目（ウを用いる場合は４科目）

ただし，理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は，ア，イの２科目の成績と，ウ，エのうち高い方の成績を用います。

また，地歴，公民について指定した科目から２科目並びに理科について(4)により２科目受験している場合には，第１解答科目の２科目及び第２解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。

4　『簿記・会計』，『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

5　外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

1　学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程の教科・科目等は，Ａ系が国語又は外国語，Ｂ系が数学又は理科，Ｃ系が実技検査（「音楽」，「美術」，「保健体育」からいずれか１つ選択）です。

2　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『　』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ａ・数Ｂ』・・・１科目，『物基・物』・・・１科目）

3　『国語』　「国語総合」，「現代文Ｂ」，「古典Ｂ」の３科目を合わせた範囲から出題します。

4　数学　「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ａ」，「数Ｂ」の４科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数Ａ」，「数Ｂ」の５科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数Ａ」は（場合の数と確率），（図形の性質）を，「数Ｂ」は（数列），（ベクトル）を出題範囲とします。
ただし，中学校数学，あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は，問うこともあります。

5　外国語『英語』　「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」の５科目を合わせた範囲から出題します。

6　理科　『物基・物』は，「物理基礎」と「物理」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は，「化学基礎」と「化学」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は，「生物基礎」と「生物」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『地学基・地学』は，「地学基礎」と「地学」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。

7　小論文　広く人文・社会・自然・芸術等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入試センター試験の配点等】

1　数学及び理科の①②は，大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。

2　理科①は，１科目「50点」で，２科目合わせて「100点」の配点となります。

3　外国語で『英語』を選択した場合の配点は，筆記「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，筆記「200点」とします。

4　大学入試センター試験の利用教科・科目の選択パターンは，次のⅠ～Ⅵの６通りです。

<table>
<tr><th colspan="12">大学入試センター試験の配点等</th></tr>
<tr><th rowspan="2">学科名等</th><th rowspan="2">選択パターン</th><th rowspan="2">学力検査等の区分</th><th rowspan="2">国語</th><th rowspan="2">地歴</th><th rowspan="2">公民</th><th colspan="2">数学</th><th colspan="2">理科</th><th rowspan="2">外国語</th><th rowspan="2">配点合計</th><th rowspan="2">成績の利用方法等</th></tr>
<tr><th>①</th><th>②</th><th>①</th><th>②</th></tr>
<tr><td rowspan="6">学校教育教員養成課程</td><td>Ⅰ　地歴，公民で指定した科目から１科目選択し，理科は⑶を選択した場合</td><td rowspan="6">前期日程・後期日程</td><td>200</td><td colspan="2">100</td><td>100</td><td>100</td><td>(50)　(50)
100</td><td>100</td><td>200</td><td>900</td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅱ　地歴，公民で指定した科目から１科目選択し，理科は⑷を選択した場合</td><td>200</td><td colspan="2">100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td>100　100</td><td>200</td><td>900</td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅲ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科は⑴を選択した場合</td><td>200</td><td>100
200</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>(50)　(50)
100</td><td></td><td>200</td><td>900</td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅳ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科は⑵を選択した場合</td><td>200</td><td>100
200</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td>100</td><td>200</td><td>900</td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅴ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科は⑶を選択した場合</td><td>200</td><td>＊100
＊200
100
200</td><td>＊100

100</td><td>100</td><td>100</td><td>(50)　(50)
＊100</td><td>＊100</td><td>200</td><td>900</td><td>＊印を付したものについては，地歴，公民の第１解答科目の成績と，「「地歴，公民の第２解答科目」，「理科①」，「理科②」」のうち高い順に２つの成績を用います。
理科の⑶で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合に，＊を付したものについては，「理科①」，「理科②」のうち高い方の成績を用います。</td></tr>
<tr><td>Ⅵ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科は⑷を選択した場合</td><td>200</td><td>＊100
＊200</td><td>＊100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td>＊100　＊100</td><td>200</td><td>900</td><td>＊印を付したものについては，「地歴，公民」，「理科」の各第１解答科目の成績と，「地歴，公民」，「理科」の第２解答科目のうち高い方の成績を用います。</td></tr>
</table>

【個別学力検査等の配点等】

＊印は選択教科・科目を表します。

<table>
<tr><th colspan="10">個別学力検査等の配点等</th></tr>
<tr><th colspan="2">学科等名</th><th colspan="2">学力検査等の区分</th><th>国語</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th><th>実技</th><th>小論文</th><th>配点合計</th></tr>
<tr><td rowspan="4">学校教育教員養成課程</td><td rowspan="2">幼児教育コース
小学校教育コース</td><td colspan="2">前期日程</td><td>＊200</td><td>＊200</td><td>＊200</td><td>＊200</td><td>＊200</td><td></td><td>200</td></tr>
<tr><td colspan="2">後期日程</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>200</td><td>200</td></tr>
<tr><td rowspan="3">中学校教育コース</td><td rowspan="3">前期日程</td><td>Ａ系</td><td>＊200</td><td></td><td></td><td>＊200</td><td></td><td></td><td>200</td></tr>
<tr><td>Ｂ系</td><td></td><td>＊200</td><td>＊200</td><td></td><td></td><td></td><td>200</td></tr>
<tr><td>Ｃ系</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>200</td><td></td><td>200</td></tr>
<tr><td colspan="2">後期日程</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>200</td><td>200</td></tr>
</table>

【法 学 部】

<table>
<tr><th rowspan="2">学科等名</th><th rowspan="2">学力検査等の区分</th><th colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th><th colspan="3">個別学力検査等</th></tr>
<tr><th>教科</th><th>科目名等</th><th>教科等</th><th>科目名等</th><th>２段階選抜</th></tr>
<tr><td rowspan="6">〔昼間コース〕
法学科</td><td rowspan="5">前期日程</td><td>国</td><td>『国語』　必須</td><td rowspan="2">数
外</td><td rowspan="2">『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』
『英語』　から１教科
〔１教科１科目〕</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>地歴
公民</td><td>（「世Ｂ」,「日Ｂ」,「地理Ｂ」）から１又は２科目
（「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』）から１科目　から２科目</td></tr>
<tr><td>数</td><td>（「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』）　から１科目
（「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』）　から１科目</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>理</td><td>（「物基」,「化基」,「生基」,「地学基」）から２科目又は
（「物」,「化」,「生」,「地学」）から１科目</td></tr>
<tr><td>後期日程</td><td>外</td><td>（『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』）　から１科目
〔５教科７科目又は６教科７科目（理科で基礎を付した科目を選択する場合は５教科８科目又は６教科８科目）〕</td><td>その他</td><td>小論文</td><td></td></tr>
</table>

（注）【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

１　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『　』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・１科目，『簿・会』・・・１科目）

２　『簿記・会計』，『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

３　理科について，指定した科目から基礎を付した科目を２科目並びに基礎を付さない科目を１科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。

ア．基礎を付した科目（２科目の合計）
イ．基礎を付さない科目　} ア又はイのうち高得点の科目（アを用いる場合は２科目）

また，理科について，指定した科目から基礎を付さない科目を２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。

４　外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

１　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『　』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・１科目）

２　数学　「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数A」,「数B」の４科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は（場合の数と確率），（図形の性質）を，「数B」は（数列），（ベクトル）を出題範囲とします。
ただし，中学校数学，あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は，問うこともあります。

３　外国語『英語』　「コミュニケーション英語Ⅰ」,「コミュニケーション英語Ⅱ」,「コミュニケーション英語Ⅲ」,「英語表現Ⅰ」,「英語表現Ⅱ」の５科目を合わせた範囲から出題します。

４　小論文　広く社会・政治・法律・人文等の分野から選んだ素材に即して論述するものです。

【大学入試センター試験の配点等】

1　数学及び理科の①②は，大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。

2　理科①は，１科目「50点」で，２科目合わせて「100点」の配点となります。

3　外国語で『英語』を選択した場合の配点は，筆記「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，筆記「200点」とします。

4　大学入試センター試験の利用教科・科目の選択パターンは，次のⅠ～Ⅷの８通りです。

大学入試センター試験の配点等												
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	配点合計	成績の利用方法等
						①	②	①	②			
（昼間コース）法学科	Ⅰ　地歴，公民で指定した科目からそれぞれ１科目選択し，理科は基礎を付した科目から２科目を選択した場合	前期日程・後期日程	200	100	100	100	100	(50)＋(50)＝100		200	900	
	Ⅱ　地歴，公民で指定した科目からそれぞれ１科目選択し，理科は基礎を付さない科目から１科目を選択した場合		200	100	100	100	100		100	200	900	
	Ⅲ　地歴，公民で指定した科目からそれぞれ１科目選択し，理科は基礎を付した科目から２科目及び基礎を付さない科目から１科目を選択した場合		200	100	100	100	100	(50)＋(50)＝＊100	＊100	200	900	＊印を付したものについては，高い方の成績を用います。
	Ⅳ　地歴，公民で指定した科目からそれぞれ１科目選択し，理科は基礎を付さない科目から２科目を選択した場合		200	100	100	100	100		＊100　＊100	200	900	＊印を付したものについては，第１解答科目の成績を用います。
	Ⅴ　地歴で指定した科目から２科目選択し，理科は基礎を付した科目から２科目を選択した場合		200	200（2科目）		100	100	(50)＋(50)＝100		200	900	
	Ⅵ　地歴で指定した科目から２科目選択し，理科は基礎を付さない科目から１科目を選択した場合		200	200（2科目）		100	100		100	200	900	
	Ⅶ　地歴で指定した科目から２科目選択し，理科は基礎を付した科目から２科目及び基礎を付さない科目から１科目を選択した場合		200	200（2科目）		100	100	(50)＋(50)＝＊100	＊100	200	900	＊印を付したものについては，高い方の成績を用います。
	Ⅷ　地歴で指定した科目から２科目選択し，理科は基礎を付さない科目から２科目を選択した場合		200	200（2科目）		100	100		＊100　＊100	200	900	＊印を付したものについては，第１解答科目の成績を用います。

【個別学力検査等の配点等】

＊印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査等の配点等					
学科等名	学力検査等の区分	数学	外国語	小論文	配点合計
（昼間コース）法学科	前期日程	＊300	＊300		300
	後期日程			300	300

【経済学部】

<table>
<tr><th rowspan="2">学科等名</th><th rowspan="2">学力検査等の区分</th><th colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th><th colspan="3">個別学力検査等</th></tr>
<tr><th>教科</th><th>科目名等</th><th>教科等</th><th>科目名等</th><th>２段階選抜</th></tr>
<tr><td rowspan="6">〔昼間コース〕
経済学科</td><td rowspan="4">前期日程</td><td>国</td><td>『国語』　必須</td><td rowspan="4">外</td><td rowspan="4">『英語』
〔１教科１科目〕</td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>地歴
公民
理</td><td>（「世Ａ」「世Ｂ」，「日Ａ」，「日Ｂ」，「地理Ａ」，「地理Ｂ」）
（「現社」，「倫」，「政経」，『倫・政経』）
⑴ （「物基」，「化基」，「生基」，「地学基」）から２科目
⑵ （「物」，「化」，「生」，「地学」）から１科目
⑶ （「物基」，「化基」，「生基」，「地学基」）から２科目‖並びに（「物」，「化」，「生」，「地学」）から１科目
⑷ （「物」，「化」，「生」，「地学」）から２科目
から２科目（理科で⑴又は⑶を選択する場合は３科目）</td></tr>
<tr><td>数</td><td>（「数Ⅰ」，『数Ⅰ・数Ａ』）　から１科目</td></tr>
<tr><td rowspan="2">後期日程</td><td>外</td><td>（『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』）　から１科目
〔４教科６科目又は５教科６科目（理科で⑴又は⑶を選択する場合は４教科７科‖又は５教科７科‖）〕</td></tr>
<tr><td>数</td><td>（『数Ⅱ』，『数Ⅱ・数Ｂ』，『簿・会』『情報』）　から１科目</td><td>その他</td><td>小論文</td><td></td></tr>
</table>

（注）【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

１　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『　』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ａ』・・・１科目，『簿・会』・・・１科目）

２　地歴公民において同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

３　地歴，公民，理科の利用科‖等は次のとおりです。（右表「大学入試センター試験の配点等」参照）

●地歴，公民から１科目並びに理科について（３）により３科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。
ア．地歴，公民の１科目
イ．理科の基礎を付した科目（２科目の合計）
ウ．理科の基礎を付さない科目
｝ア～ウのうち高得点順に２科目（イを用いる場合は３科目）
ただし，理科で同一名称を含む出題科‖同士を選択した場合は，アの成績と，イ，ウのうち高い方の成績を用います。

●地歴，公民から１科目並びに理科について（４）により２科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。
ア．地歴，公民の１科目
イ．理科の第２解答科目
｝ア，イのうち高得点のものを１科‖
ウ．理科の第１解答科目　・・・１科目
｝２科‖

●地歴，公民から２科目並びに理科について（１）により２科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。
ア．地歴，公民の第１解答科目　・・・１科目
イ．地歴，公民の第２解答科目
ウ．理科の基礎を付した科目（２科目の合計）
｝イ，ウのうち高得点のものを１科目（ウを用いる場合は２科目）
｝２科目

●地歴，公民から２科目並びに理科について（２）により１科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。
ア．地歴，公民の第１解答科目　・・・１科目
イ．地歴，公民の第２解答科‖
ウ．理科の基礎を付さない科目
｝イ，ウのうち高得点のものを１科‖
｝２科目

●地歴，公民から２科目並びに理科について（３）により３科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。
ア．地歴，公民の２科目の合計
イ．地歴，公民の第１解答科目と理科の基礎を付した科目（２科目の合計）の合計
ウ．地歴，公民の第１解答科目と理科の基礎を付さない科目の合計
エ．理科の３科目の合計
｝ア～エの各合計点のうち最も高いもの

●地歴，公民から２科目並びに理科について（４）により２科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。
ア．地歴，公民の２科‖の合計
イ．理科の２科目の合計
ウ．地歴，公民の第１解答科目と理科の第１解答科目の合計
｝ア～ウの各合計点のうち最も高いもの

４　外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

１　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『　』内の記載を１科目と数えます。

２　外国語『英語』　「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」の５科目を合わせた範囲から出題します。

３　小論文　広く経済・社会等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入試センター試験の配点等】

1　数学及び理科の①②は，大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。

2　理科①は，１科目「50点」で，２科目合わせて「100点」の配点となります。

3　外国語で『英語』を選択した場合の配点は，筆記「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，筆記「200点」とします。

4　前期日程の大学入試センター試験については，各教科に傾斜配点をした配点Ａ～配点Ｃを計算し，最も高得点の配点型を利用します。

5　大学入試センター試験の利用教科・科目の選択パターンは，次のⅠ～Ⅺの11通りです。

<table>
<tr><th colspan="12">大学入試センター試験の配点等</th></tr>
<tr><th rowspan="2">学科等名</th><th rowspan="2">選択パターン</th><th rowspan="2" colspan="2">学力検査等の区分</th><th rowspan="2">国語</th><th rowspan="2">地歴
公民</th><th colspan="2">数学</th><th colspan="2">理科</th><th rowspan="2">外国語</th><th rowspan="2">配点
合計</th><th rowspan="2">成績の利用方法等</th></tr>
<tr><th>①</th><th>②</th><th>①</th><th>②</th></tr>
<tr><td rowspan="12">(昼間コース)
経済学科</td><td rowspan="4">Ⅰ　地歴，公民は選択せず，理科は⑶を選択した場合</td><td rowspan="3">前期日程</td><td>配点Ａ</td><td>300</td><td rowspan="4"></td><td>100</td><td>100</td><td rowspan="4">(50)　(50)
100</td><td rowspan="4">100</td><td>200</td><td rowspan="4">900</td><td rowspan="4">理科の⑶で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は，科目数不足となり，不合格となります。</td></tr>
<tr><td>配点Ｂ</td><td>200</td><td>150</td><td>150</td><td>200</td></tr>
<tr><td>配点Ｃ</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>300</td></tr>
<tr><td>後期日程</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>800</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Ⅱ　地歴，公民は選択せず，理科は⑷を選択した場合</td><td rowspan="3">前期日程</td><td>配点Ａ</td><td>300</td><td rowspan="4"></td><td>100</td><td>100</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">100</td><td rowspan="4">100</td><td>200</td><td rowspan="4">900</td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>配点Ｂ</td><td>200</td><td>150</td><td>150</td><td>200</td></tr>
<tr><td>配点Ｃ</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>300</td></tr>
<tr><td>後期日程</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>800</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Ⅲ　地歴，公民で指定した科目から１科目選択し，理科は⑴を選択した場合</td><td rowspan="3">前期日程</td><td>配点Ａ</td><td>300</td><td rowspan="4">100</td><td>100</td><td>100</td><td rowspan="4">(50)　(50)
100</td><td rowspan="4"></td><td>200</td><td rowspan="4">900</td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>配点Ｂ</td><td>200</td><td>150</td><td>150</td><td>200</td></tr>
<tr><td>配点Ｃ</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>300</td></tr>
<tr><td>後期日程</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>800</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Ⅳ　地歴，公民で指定した科目から１科目選択し，理科は⑵を選択した場合</td><td rowspan="3">前期日程</td><td>配点Ａ</td><td>300</td><td rowspan="4">100</td><td>100</td><td>100</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">100</td><td>200</td><td rowspan="4">900</td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>配点Ｂ</td><td>200</td><td>150</td><td>150</td><td>200</td></tr>
<tr><td>配点Ｃ</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>300</td></tr>
<tr><td>後期日程</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>800</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Ⅴ　地歴，公民で指定した科目から１科目選択し，理科は⑶を選択した場合</td><td rowspan="3">前期日程</td><td>配点Ａ</td><td>300</td><td rowspan="4">＊100</td><td>100</td><td>100</td><td rowspan="4">(50)　(50)
＊100</td><td rowspan="4">＊100</td><td>200</td><td rowspan="4">900</td><td rowspan="4">＊印を付したものについては，高い順に２つの成績を用います。ただし，理科の⑶で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は，地歴，公民の成績と，「理科①」，「理科②」のうち高い方の成績を用います。</td></tr>
<tr><td>配点Ｂ</td><td>200</td><td>150</td><td>150</td><td>200</td></tr>
<tr><td>配点Ｃ</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>300</td></tr>
<tr><td>後期日程</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>800</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Ⅵ　地歴，公民で指定した科目から１科目選択し，理科は⑷を選択した場合</td><td rowspan="3">前期日程</td><td>配点Ａ</td><td>300</td><td rowspan="4">＊100</td><td>100</td><td>100</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">＊100</td><td rowspan="4">＊100</td><td>200</td><td rowspan="4">900</td><td rowspan="4">＊印を付したものについては，理科②の第１解答科目の成績と，「地歴，公民」，「理科②の第２解答科目」のうち高い方の成績を用います。</td></tr>
<tr><td>配点Ｂ</td><td>200</td><td>150</td><td>150</td><td>200</td></tr>
<tr><td>配点Ｃ</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>300</td></tr>
<tr><td>後期日程</td><td>200</td><td>＊100</td><td>100</td><td>100</td><td>＊100</td><td>＊100</td><td>200</td><td>800</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Ⅶ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科は選択しなかった場合</td><td rowspan="3">前期日程</td><td>配点Ａ</td><td>300</td><td rowspan="4">100</td><td rowspan="4">100</td><td>100</td><td>100</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td><td>200</td><td rowspan="4">900</td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>配点Ｂ</td><td>200</td><td>150</td><td>150</td><td>200</td></tr>
<tr><td>配点Ｃ</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>300</td></tr>
<tr><td>後期日程</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>800</td></tr>
<tr><td rowspan="4">Ⅷ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科は⑴を選択した場合</td><td rowspan="3">前期日程</td><td>配点Ａ</td><td>300</td><td rowspan="4">＊100</td><td rowspan="4">＊100</td><td>100</td><td>100</td><td rowspan="4">(50)　(50)
＊100</td><td rowspan="4"></td><td>200</td><td rowspan="4">900</td><td rowspan="4">＊印を付したものについては，地歴，公民の第１解答科目の成績と，「地歴，公民の第２解答科目」，「理科①」のうち高い方の成績を用います。</td></tr>
<tr><td>配点Ｂ</td><td>200</td><td>150</td><td>150</td><td>200</td></tr>
<tr><td>配点Ｃ</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>300</td></tr>
<tr><td>後期日程</td><td>200</td><td>＊100</td><td>＊100</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>800</td></tr>
</table>

※次ページに続く

大学入試センター試験の配点等															
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分		国語	地歴 公民		数学		理科				外国語	配点 合計	成績の利用方法等
							①	②	①		②				
(昼間コース) 経済学科	Ⅸ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科は⑵を選択した場合	前期日程	配点Ａ	300	＊100	＊100	100	100			＊100		200	900	＊印を付したものについては，地歴，公民の第１解答科目の成績と，「地歴，公民の第２解答科目」，「理科②」のうち高い方の成績を用います。
			配点Ｂ	200			150	150					200		
			配点Ｃ	200			100	100					300		
		後期日程		200	＊100	＊100	100	100			＊100		200	800	
	Ⅹ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科は⑶を選択した場合	前期日程	配点Ａ	300	＊100	＊100	100	100	(50)　(50) ＊100		＊100		200	900	＊印を付したものについては，「地歴，公民の第１解答科目と理科①の成績」，「地歴，公民の第１解答科目Ⅱと理科②の成績」，「地歴，公民の２科目の成績」，「理科①と理科②の成績」のうち高い方の成績を用います。ただし，理科の⑶で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は，地歴，公民の第１解答科目の成績と，「地歴，公民の第２解答科目」，「理科①」，「理科②」のうち高い方の成績を用います。
			配点Ｂ	200			150	150					200		
			配点Ｃ	200			100	100					300		
		後期日程		200	＊100	＊100	100	100	(50)　(50) ＊100		＊100		200	800	
	Ⅺ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科は⑷を選択した場合	前期日程	配点Ａ	300	＊100	＊100	100	100			＊100	＊100	200	900	＊印を付したものについては，「地歴，公民の第１解答科目と理科②の第１解答科Ⅱの成績」，「地歴，公民の２科目の成績」，「理科②の２科目の成績」のうち高い方の成績を用います。
			配点Ｂ	200			150	150					200		
			配点Ｃ	200			100	100					300		
		後期日程		200	＊100	＊100	100	100			＊100	＊100	200	800	

【個別学力検査等の配点等】

個別学力検査等の配点等				
学科等名	学力検査等の区分	外国語	小論文	配点合計
(昼間コース) 経済学科	前期日程	200		200
	後期日程		300	300

【医 学 部】（医学科）

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等		教科等	科目名等	２段階選抜
医学科	前期日程	国	『国語』	必須	数	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』 必須	約５倍
		地歴 公民	（「世Ｂ」,「日Ｂ」,「地理Ｂ」） （「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』）	から１科目	理	（『物基・物』,『化基・化』,『生基・生』） から２科目	
		数	『数Ⅰ・数A』	必須	外	『英語』 必須〔３教科４科目〕	
			（『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』）	から１科目			
		理	（「物」,「化」,「生」）	から２科目	その他	面接	
	後期日程	外	（『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』）	から１科目〔５教科７科目〕	その他	小論文 面接	約12倍

（注）【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

１ 『 』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『 』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・１科目，『簿・会』・・・１科目）

２ 地歴及び公民について２科目受験している場合は，第１解答科目の成績を用います。指定した科目を第１解答科目として受験していない場合は，個別学力検査等を受験することができませんので，注意してください。

３ 『簿記・会計』，『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

４ 外国語で『英語』を選択した場合は，リスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

１ 『 』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『 』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』・・・１科目，『物基・物』・・・１科目）

２ 数学　「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数A」，「数B」の５科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は（場合の数と確率），（図形の性質）を，「数B」は（数列），（ベクトル）を出題範囲とします。
ただし，中学校数学，あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は，問うこともあります。

３ 理科　『物基・物』は，「物理基礎」と「物理」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は，「化学基礎」と「化学」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は，「生物基礎」と「生物」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。

４ 外国語『英語』　「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」，「英語表現Ⅱ」の５科目を合わせた範囲から出題します。

５ 小論文　出題は，英語による問題（小論文Ⅰ）と日本語による理科系の論述式問題（小論文Ⅱ）とします。

【大学入試センター試験の配点等】

1　数学及び理科の①②は，大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。

2　《前期日程》外国語で『英語』を選択した場合の配点は，筆記「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，筆記「200点」とします。
《後期日程》外国語で『英語』を選択した場合の配点は，筆記「240点」，リスニング「60点」の計「300点」とします。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，筆記「300点」とします。

大学入試センター試験の配点等													
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分	国語	地歴公民	数学		理科				外国語	配点合計	成績の利用方法等
					①	②	①		②				
医学科		前期日程	200	100（１科目）	100	100			100	100	200	900	地歴，公民で指定した科目から２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。
		後期日程	200	100（１科目）	150	150			150	150	300	1200	

【個別学力検査等の配点等】

個別学力検査等の配点等							
学科等名	学力検査等の区分	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
医学科	前期日程	200	200	200		100	700
	後期日程				200	100	300

【医 学 部】（看護学科）

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階選抜
看護学科	前期日程	国	『国語』	必須	その他	面接	
		地歴 公民	（「世Ａ」，「世Ｂ」，「日Ａ」，「日Ｂ」，「地理Ａ」，「地理Ｂ」） （「現社」，「倫」，「政経」，『倫・政経』）	から１科目			
		理	(1) （「物基」，「化基」，「生基」）から２科目 (2) （「物」，「化」，「生」） から１科目	(1)，(2)のいずれか			
		数	（『数Ⅰ・数Ａ』，『数Ⅱ・数Ｂ』，『簿・会』，『情報』）	から１科目			
		外	（『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』）	から１科目			
			〔５教科５科目（理科で(1)を選択する場合は５教科６科目）〕				

（注）【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

1 『 』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『 』内の記載を１科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ａ』・・・１科目，『簿・会』・・・１科目）

2 地歴及び公民について２科目受験している場合は，第１解答科目の成績を用います。

3 理科について基礎を付さない科目を２科目受験している場合は，第１解答科目の成績を用います。指定した科目を第１解答科目として受験していない場合は，(2)を選択することができませんので，注意してください。
また，指定した科目から基礎を付した科目を２科目並びに基礎を付さない科目を受験している場合には，次の科目の成績を用います。

ア．基礎を付した科目（２科目の合計）
イ．基礎を付さない科目
} ア又はイのうち高得点の科目（アを用いる場合は２科目）

4 数学について指定した科目から２科目受験している場合は，高得点の科目の成績を用います。

5 『簿記・会計』，『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

6 外国語で『英語』を選択した場合は，リスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【大学入試センター試験の配点等】

1　数学及び理科の①②は，大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。

2　外国語で『英語』を選択した場合の配点は，筆記「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，筆記「200点」とします。

3　理科①は，１科目「75点」で，２科目合わせて「150点」の配点となります。

<table>
<tr><th colspan="10">大学入試センター試験の配点等</th></tr>
<tr><th rowspan="2">学科等名</th><th rowspan="2">選択パターン</th><th rowspan="2">学力検査等の区分</th><th rowspan="2">国語</th><th rowspan="2">地歴
公民</th><th colspan="2">数学</th><th colspan="2">理科</th><th rowspan="2">外国語</th><th rowspan="2">配点
合計</th><th rowspan="2">成績の利用方法等</th></tr>
<tr><th>①</th><th>②</th><th>①</th><th>②</th></tr>
<tr><td rowspan="2">看護学科</td><td>Ⅰ　理科で⑴を選択した場合</td><td rowspan="2">前期日程</td><td>200</td><td>100
（１科目）</td><td colspan="2">150
（１科目）</td><td>(75)　(75)
150</td><td rowspan="2"></td><td>200</td><td>800</td><td>地歴，公民で指定した科目から２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。
数学で指定した科目から２科目受験している場合には，高得点の科目の成績を用います。</td></tr>
<tr><td>Ⅱ　理科で⑵を選択した場合</td><td>200</td><td>100
（１科目）</td><td colspan="2">150
（１科目）</td><td></td><td>150
（１科目）</td><td>200</td><td>800</td><td>地歴，公民で指定した科目から２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。
数学で指定した科目から２科目受験している場合には，高得点の科目の成績を用います。
理科②で指定した科目から２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。</td></tr>
</table>

【個別学力検査等の配点等】

個別学力検査等の配点等							
学科等名	学力検査等の区分	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
看護学科	前期日程					200	200

【医 学 部】（臨床心理学科）

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階選抜
臨床心理学科	前期日程	国	『国語』	必須	国数	『国語』（『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』又は『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』）から1教科	約6倍
		地歴 公民	（「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」）から1又は2科目 （「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』）から1科目	から1又は2科目	外	『英語』 必須 〔2教科2科目〕	
		理	(1)（「物基」,「化基」,「生基」）から2科目 (2)（「物」,「化」,「生」）から1科目 (3)（「物基」,「化基」,「生基」）から2科目並びに（「物」,「化」,「生」）から1科目 (4)（「物」,「化」,「生」）から2科目	(1)～(4)のいずれか	その他	面接	
				から3科目（理科で(1)又は(3)を選択する場合は4科目）			
		数	『数Ⅰ・数A』	必須			
			（「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』）	から1科目			
		外	（『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』）	から1科目			
			〔5教科7科目又は6教科7科目（理科で(1)又は(3)を選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目）〕				

（注）【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

1 『 』内記載のものは，2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目，『簿・会』・・・1科目）

2 地歴及び公民については，「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1又は2科目，「現代社会」「倫理」「政治・経済」『倫理，政治・経済』から1科目までの成績を用います。

3 地歴，公民，理科の利用科目等は次のとおりです。（**右表「大学入試センター試験の配点等」参照**）

●地歴，公民で指定した科目から1科目選択する場合は，理科は(3)又は(4)を選択してください。なお，理科で(3)を選択する場合には，同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

●地歴，公民で指定した科目から2科目選択する場合は，理科は(1)～(4)のいずれかを選択してください。

●地歴，公民について指定した科目から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。

ア．地歴，公民の第1解答科目 ・・・・ 1科目
イ．地歴，公民の第2解答科目
ウ．理科の基礎を付した科目（2科目の合計） } イ～エのうち高得点順に2科目（ウを用いる場合は3科目） } 3科目（ウを用いる場合は4科目）
エ．理科の基礎を付さない科目

ただし，理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は，ア，イの2科目の成績と，ウ，エのうち高い方の成績を用います。

また，地歴，公民について指定した科目から2科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には，第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。

4 『簿記・会計』，『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

5 外国語で『英語』を選択した場合は，リスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

1 『国語』 「国語総合」,「現代文B」,「古典B」の3科目を合わせた範囲から出題します。

2 数学 「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数A」,「数B」の4科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数Ⅲ」,「数A」,「数B」の5科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数A」は（場合の数と確率），（図形の性質）を，「数B」は（数列），（ベクトル）を出題範囲とします。
ただし，中学校数学，あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は，問うこともあります。

3 外国語『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」,「コミュニケーション英語Ⅱ」,「コミュニケーション英語Ⅲ」,「英語表現Ⅰ」,「英語表現Ⅱ」の5科目を合わせた範囲から出題します。

【大学入試センター試験の配点等】

1　数学及び理科の①②は，大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。

2　理科①は，１科目「50点」で，２科目合わせて「100点」の配点となります。

3　外国語で『英語』を選択した場合の配点は，筆記「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，筆記「200点」とします。

4　大学入試センター試験の利用教科・科目の選択パターンは次のⅠ～Ⅵの６通りです。

<table>
<tr><th colspan="12">大学入試センター試験の配点等</th></tr>
<tr><th rowspan="2">学科等名</th><th rowspan="2">選択パターン</th><th rowspan="2">学力検査等の区分</th><th rowspan="2">国語</th><th rowspan="2">地歴</th><th rowspan="2">公民</th><th colspan="2">数学</th><th colspan="2">理科</th><th rowspan="2">外国語</th><th rowspan="2">配点合計</th><th rowspan="2">成績の利用方法等</th></tr>
<tr><th>①</th><th>②</th><th>①</th><th>②</th></tr>
<tr><td rowspan="6">臨床心理学科</td><td>Ⅰ　地歴，公民で指定した科目から１科目選択し，理科は⑶を選択した場合</td><td rowspan="6">前期日程</td><td>200</td><td colspan="2">100</td><td>100</td><td>100</td><td>(50)　(50)
100</td><td>100</td><td>200</td><td>900</td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅱ　地歴，公民で指定した科目から１科目選択し，理科は⑷を選択した場合</td><td>200</td><td colspan="2">100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td>100　100</td><td>200</td><td>900</td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅲ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科は⑴を選択した場合</td><td>200</td><td>100
200</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>(50)　(50)
100</td><td></td><td>200</td><td>900</td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅳ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科は⑵を選択した場合</td><td>200</td><td>100
200</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td>100</td><td>200</td><td>900</td><td></td></tr>
<tr><td>Ⅴ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科は⑶を選択した場合</td><td>200</td><td>＊100
＊200
100
200</td><td>＊100

100
</td><td>100</td><td>100</td><td>(50)　(50)
＊100</td><td>＊100</td><td>200</td><td>900</td><td>＊印を付したものについては，地歴，公民の第１解答科目の成績と，「「地歴，公民の第２解答科目」，「理科①」，「理科②」」のうち高い順に２つの成績を用います。
理科の⑶で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合に，＊を付したものについては，「理科①」，「理科②」のうち高い方の成績を用います。</td></tr>
<tr><td>Ⅵ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科は⑷を選択した場合</td><td>200</td><td>＊100
＊200</td><td>＊100
</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td>＊100　＊100</td><td>200</td><td>900</td><td>＊印を付したものについては，「地歴，公民」，「理科」の各第１解答科目の成績と，「地歴，公民」，「理科」の第２解答科目のうち高い方の成績を用います。</td></tr>
</table>

【個別学力検査等の配点等】

個別学力検査等の配点等					
学科等名	学力検査等の区分	国語又は数学	英語	面接	配点合計
臨床心理学科	前期日程	200	200	100	500

【創造工学部】

学科等名		学力検査等の区分		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
				教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
創造工学科	全コース	前期日程	Aタイプ	国	『国語』 必須	数理	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』（『物基・物』,『化基・化』から1科目）から1科目	
				地歴 公民	（「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」）（「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』）から1科目		〔1教科1科目〕	
				数	（「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』）から1科目			
					（「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『情報』）から1科目			
				理	「物」 必須			
					（「化」,「生」,「地学」）から1科目			
				外	（『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』）から1科目			
					〔5教科7科目〕			
	造形・メディアデザインコース 防災・危機管理コース		Bタイプ	国	『国語』 必須		〈造形・メディアデザインコース〉	
				地歴 公民	（「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」）（「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』）から1科目	数理	『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』（『物基・物』,『化基・化』から1科目）から1科目	
				数	（「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』）から1科目			
					（「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』）から1科目	その他	総合問題	
				理	（『物基』,『化基』,『生基』,『地学基』）から2科目又は（「物」,「化」,「生」,「地学」）から1科目		〔1教科1科目〕	
				外	（『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』）から1科目		〈防災・危機管理コース〉	
					〔5教科6科目（理科で基礎を付した科目を選択する場合は5教科7科目）〕	数理	『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』（『物基・物』,『化基・化』,『地学基・地学』から1科目）から1科目	
							〔1教科1科目〕	
	全コース	後期日程		国	『国語』 必須	その他	小論文	
				地歴 公民	（「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」）（「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』）から1科目			
				数	（「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』）から1科目			
					（「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『情報』）から1科目			
				理	（「物」,「化」,「生」,「地学」）から2科目			
				外	（『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』）から1科目			
					〔5教科7科目〕			

（注）【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

1 『 』内記載のものは，2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目）

2 地歴及び公民について2科目受験している場合には，第1解答科目の成績を用います。

3 理科について，指定した科目から基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を1科目受験している場合には，次の科目の成績を用います。
ア．基礎を付した科目（2科目の合計）
イ．基礎を付さない科目
} ア又はイのうち高得点の科目（アを用いる場合は2科目）
また，Bタイプの試験においては，理科で指定した科目から基礎を付さない科目を2科目受験している場合には，第1解答科目の成績を用います。

4 外国語で『英語』を選択した場合は，リスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

1 『 』内記載のものは，2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『 』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』・・・1科目，『物基・物』・・・1科目）

2 数学　Aタイプの試験においては，「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数Ⅲ」,「数A」,「数B」の5科目を合わせた範囲から出題します。
Bタイプの試験においては，「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数A」,「数B」の4科目を合わせた範囲から出題します。
なお，いずれのタイプの試験においても，「数A」は（場合の数と確率），（図形の性質）を，「数B」は（数列），（ベクトル）を出題範囲とします。
ただし，中学校数学，あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は，問うこともあります。

3 理科　『物基・物』は，「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は，「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『地学基・地学』は，「地学基礎」と「地学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

4 総合問題　総合問題は，本学部学生に求められる素質としての社会に開かれた創造的思考力，創造的態度及び表現力等を評価します。
素材は，特定の教科にかたよらず，広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。

5 小論文　小論文は，本学部学生に求められる素質や能力としての読解力，論理的思考力及び表現力等を評価します。
特定の教科にかたよらず，広く人文・社会・自然等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入試センター試験の配点等】

1　数学及び理科の①②は，大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。

2　外国語で『英語』を選択した場合の配点は，筆記「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，筆記「200点」とします。

<table>
<tr><th colspan="12">大学入試センター試験の配点等</th></tr>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">学科等名</th><th rowspan="2">選択パターン</th><th colspan="2" rowspan="2">学力検査等の区分</th><th rowspan="2">国語</th><th rowspan="2">地歴
公民</th><th colspan="2">数学</th><th colspan="3">理科</th><th rowspan="2">外国語</th><th rowspan="2">配点
合計</th><th rowspan="2">成績の
利用方法等</th></tr>
<tr><th>①</th><th>②</th><th colspan="2">①</th><th colspan="2">②</th></tr>
<tr><td rowspan="4">創造工学科</td><td>全コース</td><td></td><td rowspan="3">前期日程</td><td>Aタイプ</td><td>200</td><td>100
（1科目）</td><td>100</td><td>100</td><td colspan="2"></td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>900</td><td>地歴，公民で２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">造形・メディアデザインコース
防災・危機管理コース</td><td>理科で基礎を付した科目から２科目を選択した場合</td><td rowspan="2">Bタイプ</td><td>200</td><td>100
（1科目）</td><td>100</td><td>100</td><td colspan="2">(50)　(50)
100</td><td colspan="2"></td><td>200</td><td>800</td><td rowspan="2">地歴，公民で２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。
理科②で基礎を付さない科目を２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。
理科で基礎を付した科目を２科目並びに基礎を付さない科目を１科目受験している場合には，高い方の成績を用います。</td></tr>
<tr><td>理科で基礎を付さない科目から２科目を選択した場合</td><td>200</td><td>100
（1科目）</td><td>100</td><td>100</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">100</td><td>200</td><td>800</td></tr>
<tr><td>全コース</td><td></td><td colspan="2">後期日程</td><td>200</td><td>100
（1科目）</td><td>100</td><td>100</td><td colspan="2"></td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>900</td><td>地歴，公民で２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。</td></tr>
</table>

【個別学力検査等の配点等】

＊印は選択教科・科目を表します。

<table>
<tr><th colspan="11">個別学力検査等の配点等</th></tr>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">学科等名</th><th colspan="2" rowspan="2">学力検査等の区分</th><th rowspan="2">数学</th><th colspan="3">理科</th><th rowspan="2">総合問題</th><th rowspan="2">小論文</th><th rowspan="2">配点合計</th></tr>
<tr><th>物理</th><th>化学</th><th>地学</th></tr>
<tr><td rowspan="4">創造工学科</td><td>全コース</td><td rowspan="3">前期日程</td><td>Aタイプ</td><td>*200</td><td>*200</td><td>*200</td><td></td><td></td><td></td><td>200</td></tr>
<tr><td>造形・メディアデザインコース</td><td rowspan="2">Bタイプ</td><td>*200</td><td>*200</td><td>*200</td><td></td><td>*200</td><td></td><td>200</td></tr>
<tr><td>防災・危機管理コース</td><td>*200</td><td>*200</td><td>*200</td><td>*200</td><td></td><td></td><td>200</td></tr>
<tr><td>全コース</td><td colspan="2">後期日程</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td></tr>
</table>

【農 学 部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階選抜
応用生物科学科	前期日程	国	『国語』	必須	数 理	(『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』又は『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』) (『物基・物』,『化基・化』,『生基・生』から1科目)	から1科目
		地歴 公民	(「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」) (「現社」,「倫」,「政経」,『倫・政経』)	から1科目			
		数	(「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』)	から1科目		〔1教科1科目〕	
			(「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』)	から1科目			
		理	(「物」,「化」,「生」,「地学」)	から2科目			
		外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)	から1科目			
			〔5教科7科目〕				
	後期日程	数	(「数Ⅰ」,『数Ⅰ・数A』)	から1科目	その他	面接	
			(「数Ⅱ」,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』)	から1科目			
		理	(「物」,「化」,「生」,「地学」)	から2科目			
		外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』)	から1科目			
			〔3教科5科目〕				

(注)【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

1 『 』内記載のものは，2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目，『簿・会』)・・・1科目)

2 地歴及び公民について2科目受験している場合には，第1解答科目の成績を用います。

3 『簿記・会計』，『情報関係基礎』は高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。

4 外国語で『英語』を選択した場合は，筆記試験及びリスニングの成績を利用します。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者は，筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

1 『 』内記載のものは，2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・1科目，『物基・物』・・・1科目)

2 数学 「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数A」，「数B」の4科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数A」，「数B」の5科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数A」は（場合の数と確率），（図形の性質）を，「数B」は（数列），（ベクトル）を出題範囲とします。
ただし，中学校数学，あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は，問うこともあります。

3 理科 『物基・物』は，「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は，「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は，「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

【大学入試センター試験の配点等】

1　数学及び理科の①②は，大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。

2　外国語で『英語』を選択した場合の配点は，筆記「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，筆記「200点」とします。

大学入試センター試験の配点等													
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分	国語	地歴公民	数学		理科				外国語	配点合計	成績の利用方法等
					①	②	①		②				
応用生物科学科		前期日程	200	100（1科目）	100	100			100	100	200	900	地歴，公民で2科目受験している場合には，第1解答科目の成績を用います。
		後期日程			100	100			200	200	200	800	

【個別学力検査等の配点等】

＊印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査等の配点等					
学科等名	学力検査等の区分	数学	理科	面接	配点合計
応用生物科学科	前期日程	＊200	＊200		200
	後期日程			50	50

〔４〕 実技検査（教育学部学校教育教員養成課程（前期日程）のみ）

<table>
<tr><td colspan="2">幼児教育コース，小学校教育コースで実技検査を受験する者及び中学校教育コースでＣ系を受験する者</td></tr>
<tr><td>音　　楽</td><td>実技検査（音楽）を受験する者は，下記の検査項目のうち（１）は必ず受験し，それに加えて（２）から（４）のうちいずれか１つを選択し，合わせて計２項目を受験してください。
（１） ピアノ：モーツァルト，ベートーヴェンのソナタの中より，第１楽章又は終楽章から任意の１楽章を演奏する（ただし，緩徐楽章を除く。）。
（２） 新曲視唱及び旋律聴音
（３） 歌曲:以下の６曲（ア～カ）の中から任意の１曲を選び，原語で演奏する。
ア．Nel cor più non mi sento　Paisiello, G. ･･･ F dur
イ．Nel cor più non mi sento　Paisiello, G. ･･･ Es dur
ウ．Nel cor più non mi sento　Paisiello, G. ･･･ 上記以外の調
エ．荒城の月（１，２番を歌唱）滝　廉太郎 ･･･ d moll
オ．荒城の月（１，２番を歌唱）滝　廉太郎 ･･･ c moll
カ．荒城の月（１，２番を歌唱）滝　廉太郎 ･･･ 上記以外の調
なお，ウ・カを希望する者は，移調楽譜１部（伴奏譜を含む。）を入学願書に添えて提出してください。
（４） 管弦打楽器：任意の１曲を無伴奏で演奏する。

備考　１．演奏は，すべて暗譜によるものとし，繰り返しは省略してください。
２．管弦打楽器は，各自持参してください。</td></tr>
<tr><td>美　　術</td><td>実技検査（美術）を受験する者は，下記の検査項目を受験してください。
（１） 文章又は図で示された幾何形体を鉛筆で表示する。
（２） 静物を鉛筆でデッサンする。

備考　検査に必要な用具は各自持参してください（画板，用紙は用意します。）。</td></tr>
<tr><td>保健体育</td><td>実技検査（保健体育）を受験する者は，下記（１），（２）を受験してください。
（１） 一般運動能力テスト
（ジグザグ走，20ｍシャトルラン，立ち５段跳び，長座メディシンボール投げ）
（２） 次の中から１種目選択
１．陸上競技　２．器械運動　３．ダンス　４．柔道　５．剣道
６．水泳　７．バスケットボール　８．バレーボール　９．サッカー
10．ハンドボール　11．バドミントン　12．卓球　13．硬式野球
14．ソフトボール　15．硬式テニス　16．ソフトテニス

備考　１．十分に運動のできる服装を用意してください。
２．一般運動能力テストは体育館で行います。体育館シューズを持参してください。
３．スパイク使用種目については，その使用を認めます。
４．用具は，大学で用意します（受験者の持参も可）。
５．水泳は，屋内温水プールで行います。
６．受験者数等の都合で，実技検査は夕刻までかかる場合があります。</td></tr>
</table>

〔5〕 小 論 文

実施学部名	小　論　文　の　概　要
教 育 学 部	小論文は，大学生の資質として求められる論述の能力を評価します。すなわち，単なる感想ではなく，与えられた素材に基づき構成される客観的な事象について，所定の条件のもとに自らの論旨を定めて論述することを要求するものです。素材は，特定の教科にかたよらず，広く人文・社会・自然・芸術等の分野から選ばれます。 なお，評価に際しては，理解力,着想力,思考力及び文章表現上の諸能力などを総合的に評価します。
法　学　部	小論文の目的は，受験者の読解力，文章表現力及び論理的思考力を評価するとともに，学校教育法で定められている高等学校教育の目標である「社会について，広く深い理解と健全な批判力」を身につけているかどうかを判定することにあります。 素材は，特定の教科にかたよらず，広く社会・政治・法律・人文等の分野から選ばれます。
経 済 学 部	小論文の目的は，受験者の読解力，文章表現力及び論理的思考力を評価するものです。評価の観点は，資料を的確に理解し分析できているかという点と，自分の考えを他者に伝えるために，文章を論理的に構成し，かつ分かり易く表現しているかという点に置かれます。 素材は，特定の教科にかたよらず，広く経済・社会等の分野から選ばれます。
医　学　部	小論文は，単なる作文力のテストではなく，大学入試センター試験ではみることができない論理的思考力，倫理観，社会性等をみるために行います。 小論文の出題は，英語による問題（小論文Ⅰ）と日本語による理科系の論述式問題（小論文Ⅱ）とします。
創造工学部	小論文は，本学部学生に求められる素質や能力としての読解力，論理的思考力及び表現力等を評価するための論述式問題です。素材は，特定の教科にかたよらず，広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。

〔6〕 総合問題

実施学部名	総　合　問　題　の　概　要
創造工学部	総合問題は，本学部学生に求められる素質としての社会に開かれた創造的思考力，創造的態度及び表現力等を評価します。 素材は，特定の教科にかたよらず，広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。

〔7〕 面　接

実施学部名		面　接　の　概　要
医学部	医　学　科	医学科における面接は，医師及び医学研究者としての適性をみるために行います。 **地域医療推進枠** 「地域医療推進枠」の大学入試センター試験の教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目等については，一般入試（前期日程）と同じです。それに加え，香川県による面接があります。
	看 護 学 科	看護学科における面接は，将来，看護・医療に従事する者としての適性をみるために行います。
	臨床心理学科	臨床心理学科における面接は，心理援助者としての適性をみるために行います。
農　学　部		志望動機と農学部で勉学する意欲を確認し，自然科学に関する興味，論理的思考力と自分の考えを的確に伝える表現力などをみるために行います。

４．学力検査等の日時及び場所

〔１〕 学力検査等の日時

（前期日程）

月　日 / 学部等			２月25日（日）				２月26日（月）
教育学部		教科等		国語・数学	理科・外国語		
		時　間		９：00～10：30	11：20～12：50		
		教科等		実技　（音楽・美術・保健体育）			
		時　間		９：00～			
法学部		教科等		数　学	外国語		
		時　間		９：00～10：30	11：20～12：50		
経済学部		教科等			外国語		
		時　間			11：20～12：50		
医学部	医学科	教科等	数　学	外国語		※理科	※面　接
		時　間	８：30～10：00	10：15～11：45		12：35～15：35	９：00～
	看護学科	教科等		面　接			
		時　間		９：00～			
	臨床心理学科	教科等	国語・数学	外国語		※面　接	※面　接
		時　間	８：30～10：00	10：15～11：45		12：45～	９：00～
創造工学部		教科等		数　学	理　科・総合問題		
		時　間		９：00～10：30	11：20～12：50		
農学部		教科等		数　学	理　科		
		時　間		９：00～10：30	11：20～12：50		

（後期日程）

月　日 / 学部等		３月12日（月）			３月13日（火）
教育学部	教科等	小　論　文			
	時　間	10：00～12：00			
法学部	教科等	小　論　文			
	時　間	10：00～12：00			
経済学部	教科等	小　論　文			
	時　間	10：00～12：00			
医学部医学科	教科等	小論文Ⅰ・Ⅱ		※面　接	※面　接
	時　間	９：00～11：45		13：00～	９：00～
創造工学部	教科等	小　論　文			
	時　間	10：00～11：30			
農学部	教科等	※面　接			
	時　間	９：30～			

※　医学部医学科の理科は，出願時に選択した２科目を３時間で解答します。

※　医学部医学科の面接は，受験者を割り振り，次のとおり通知します。
なお，面接に関する個別の問い合わせには応じません。
・前期日程…第１段階選抜結果発表後に，本学ホームページ上で公表します。
詳細については，出願時に登録したメールアドレス宛てにお知らせします。
・後期日程…試験当日，小論文試験終了時までに所定の掲示板に掲示します。

※　医学部臨床心理学科の面接は，第１段階選抜結果発表後に，受験者の割り振りを本学ホームページ上で公表します。詳細については，出願時に登録したメールアドレス宛てにお知らせします。
なお，面接に関する個別の問い合わせには応じません。

※　農学部の面接は，当日検査場にて割り振りを通知します。
なお，面接に関する個別の問い合わせには応じません。

《集合時間》

各自，最初に受験する教科の試験開始時刻30分前までに検査場に集合してください（【医学部医学科】，【医学部臨床心理学科】及び【農学部】（後期日程）以外）。

【医学部　医学科・臨床心理学科】　前期日程（第１日目）全受験者　午前８時20分までに　集合
【医学部　医学科】　後期日程（第１日目）全受験者　午前８時50分までに　集合
【農学部】　後期日程　全受験者　午前８時45分までに　集合

〔２〕 学力検査等の場所

（１） 検査等実施会場

学力検査等は下記の検査場で実施します。各検査場については，巻末の検査場案内図を参照してください。

なお，前期日程では，学外検査場（関西地区検査場）を設置します。学外検査場を設置する学部は，下記のとおりです。試験は，香川大学検査場と同じ日時で実施します。後期日程については，学外検査場は設けず，全て香川大学で試験を実施しますので，注意してください。

志望学部	検査等実施会場	
	香川大学検査場 【前期日程・後期日程】	関西地区検査場 【前期日程のみ】
教育学部	教育学部（幸町北キャンパス） 高松市幸町１番１号	
法学部	法学部（幸町南キャンパス） 高松市幸町２番１号	
経済学部	経済学部（幸町南キャンパス） 高松市幸町２番１号	
医学部	医学部（三木町医学部キャンパス） 香川県木田郡三木町池戸1750番地１	
創造工学部	工学部（創造工学部設置予定）（林町キャンパス） 高松市林町2217番地20	大手前大学（さくら夙川キャンパス） 兵庫県西宮市御茶家所町６－42
農学部	農学部（三木町農学部キャンパス） 香川県木田郡三木町池戸2393番地	

※ 検査場へ自動車での入構はできません。

※ 関西地区検査場となっている大手前大学への問い合わせは，一切しないでください。

（２） 関西地区検査場について

ア 受験申込

関西地区検査場での受験を希望する者は，出願登録時に「検査場」欄で「関西地区検査場」を選択してください。

なお，出願登録完了後の「検査場」欄の訂正には，一切応じません。

イ 定 員

関西地区検査場での受験希望者が施設の収容能力を超える場合は先着順とし，施設の収容能力を超えた受験者は香川大学検査場での受験となります。

ウ 検査場の通知

出願書類を受理した後，検査場を決定します。受験票をダウンロードして印刷した際に，各自で受験票の「検査場」欄を見て確認してください。

決定された検査場の変更はできません。また，別検査場での受験は，いかなる理由があっても認めません。

エ そ の 他

関西地区検査場には駐車場がありませんので，公共交通機関等を利用してください。

また，関西地区検査場での受験に係る宿泊，交通について，本学では斡旋，案内等は行いません。

〔３〕 受験上の注意事項

（１） 受 験 票

試験当日は，各自でダウンロードのうえ印刷した「受験票」と「大学入試センター試験受験票(写真を貼付の上，シールを貼ってあるもの)」の両方を必ず持参してください。

なお，「受験票」は，入学試験個人成績等開示申請の際に必要ですので，大切に保管しておいてください。

また，「大学入試センター試験受験票」は，入学手続の際にも必要ですので，大切に保管しておいてください。

（２） 受験心得

ア　指定された検査場（キャンパス）以外での受験は認めませんので，検査場（キャンパス）を間違えないよう注意してください。

イ　各時限とも15分以上遅刻した場合は受験できませんので，選択した教科・科目の検査時間をよく確認しておいてください。

ただし，医学部における外国語，理科，面接及び農学部における面接については，遅刻を認めません。

ウ　机の上には，筆記用具，消しゴム，鉛筆削り（小型で手動のもの），時計（計時機能だけのもの）以外の携行品を置いてはいけません。

ただし，数学の場合は，定規，コンパスを使用してもかまいません。理科の場合は，定規を使用してもかまいません。総合問題の場合は，色鉛筆を使用してもかまいません。

エ　携帯電話，スマートフォン等音の出る機器を所持している場合は，電源を切っておいてください。

オ　不正行為のあった場合は，直ちに退場してもらいます。

カ　学力検査等についての詳細は，検査場に掲示します。

（３） 試験当日における車送迎等の自粛について

試験当日は乗用車等の構内への乗り入れができませんので，公共交通機関（又は自転車）を利用してください。

例年，自家用車での受験者送迎により，検査場周辺道路が広範囲にわたって渋滞し，試験実施に支障が生じ兼ねない状況となっています。また，近隣店舗等からも，店舗駐車場への長時間駐車等に関する苦情が寄せられています。公道上はもちろんのこと，近隣店舗や住民等の迷惑となる駐車等は決して行わないでください。

（４） 入試合否連絡等の詐欺について

試験当日に，香川大学検査場や最寄り駅周辺において，本学職員を装い，「試験の合否を知らせる。」などと言葉巧みに近寄り，アンケートや住所・氏名・電話番号などの個人情報を書かせたり，現金を要求する者がいます。本学職員がそのような行為をすることは一切ありませんので注意してください。

（５） 麻しん（はしか）の予防接種について

受験者で，麻しんワクチンの接種をしていない場合は，医療機関でのワクチン接種をお勧めします。

５．合格者発表

〔１〕 第１段階選抜合格者の発表（医学部　医学科，臨床心理学科）

「前期日程及び後期日程の第１段階選抜」平成30年２月７日（水）午前９時（予定）

本学ホームページ上においても，発表内容を掲載します（同日午前10時予定）。

〔実施する場合〕

上記日時に幸町キャンパス（高松市幸町１番１号）及び医学部内に合格者の受験番号を掲示します。

〔実施しない場合〕

上記日時に幸町キャンパス（高松市幸町１番１号）及び医学部内に「実施しない」旨の掲示をします。

〔２〕 合格者の発表

合格者の発表は，下記の日時に幸町キャンパス（高松市幸町１番１号）内の掲示板で行うとともに，本人には合格通知書(入学手続に要する書類を含みます。)を送付します。

さらに，医学部，創造工学部及び農学部については，各学部内の掲示板（創造工学部は，工学部内掲示板）でも当該学部の合格者発表を行います。

なお，電話等による問い合わせには応じません。

「前期日程」平成30年３月６日（火）午前９時（予定）

「後期日程」平成30年３月22日（木）午前９時（予定）

本学のホームページ上においても，合格者受験番号を掲載します（同日午前10時予定）。

香川大学ホームページ　　http://www.kagawa-u.ac.jp/

（注） ホームページ掲載は，本学が情報提供の一環として行うものであり，公式の合格者発表は香川大学幸町キャンパス等掲示板，合格通知書にて行います。

６．入学手続

合格者は，下記期限までに入学手続を完了してください。

入学手続書類は，「簡易書留・速達郵便」とし，下記期限（必着）までに教育・学生支援室学務グループへ郵送してください。

所定の期限までに入学手続を完了しない場合には，入学辞退者として取り扱います。

なお，入学手続に関しての詳細は，合格通知書送付時に通知します。

また，一つの国公立大学・学部に入学手続を行った者は，これを取り消して他の国公立大学・学部に入学手続を行うことはできません。

〔１〕 入学手続期限

「前期日程」

平成30年３月15日（木）17時まで（必着）

「後期日程」

平成30年３月27日（火）17時まで（必着）

〔２〕 入学手続に必要なもの

① 本学所定の誓約書　１部

② 大学入試センター試験受験票

③ 学部ごとに必要な書類

④ 納付金

入学料		282,000円（予定）
授業料	（前期分）	267,900円（予定）
	（年　額）	535,800円（予定）

なお，入学時及び在学中に納付金が改定された場合には，改定時から新たな納付金額が適用されます。

（注）１．前期分の授業料については，平成30年４月１日から平成30年５月31日までの間に納付してください。

また，希望により，前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

２．払込済の入学料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

① 入学手続を行わなかった場合

② 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

３．入学料・授業料の納付が困難な学生のために，免除や徴収猶予の制度があります。

入学手続書類送付から手続までの期間が短いため，申請希望者は香川大学ホームページ（http://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/tuition-info/16198/）で事前に必要書類をご確認ください。

４．入学手続を完了した後，何らかの事情で入学することができなくなった場合は，速やかに入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は，平成30年４月１日付けで入学したこととなり，授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

〔３〕 入学手続書類送付先

〒760-8521

香川県高松市幸町１番１号

香川大学教育・学生支援室学務グループ

７．追加合格について

合格者の辞退などにより入学定員に欠員が生じた場合は，追加して合格者を決定することがあります。

この場合，追加合格候補者に該当する受験者へ平成30年３月28日（水）から３月31日（土）までの間（８時から17時まで）に，電話により，入学願書に記載の「連絡先（住所等）」に行いますので，本人が不在の場合でも連絡が直ちにとれるようにしておいてください。

なお，追加合格者の入学手続等については，追加合格を決定した時点で指示します。

（注）１．本学からの連絡の際，追加合格候補者が不在等のために，本人との連絡・確認ができなかった場合は，入学の意思がないものとして取り扱うことがあります。

２．追加合格候補者は，発表しません。また，電話等による問い合わせには応じません。

８．追加合格の情報等について

追加合格の情報等については，以下の本学ホームページでご確認ください。

香川大学ホームページ　　http://www.kagawa-u.ac.jp/

期間　平成30年３月28日（水）から３月31日（土）

９．欠員補充第２次募集について

追加合格だけでは欠員補充ができないと予測される場合には，平成30年３月28日（水）以降に欠員補充第２次募集を行います。欠員補充第２次募集を実施する場合は，報道機関（新聞等）を通じて発表するとともに本学ホームページで情報を提供します。

香川大学ホームページ　　http://www.kagawa-u.ac.jp/

※　注意事項　欠員補充第２次募集の出願後，他の国公立大学へ入学手続を行った場合は，受験しても入学許可は得られません。

10．入試情報の開示について

〔１〕　入学者選抜試験における個人成績等の開示

（１）　開示内容

試験成績の開示を希望する一般入試の受験者には，本人の申請により，総合点，大学入試センター試験と個別学力検査の科目ごとの得点（合否判定時に採用された科目の得点）及び総合順位を通知します。その際には，受験した学部・学科等における合格者の総合点の最高点，最低点及び平均点についても併せて通知します。なお，総合順位と学部･学科等における合格者の総合点の最高点，最低点及び平均点については，教育学部，法学部，経済学部，創造工学部，農学部にあっては学部別に，医学部にあっては学科別

に開示します。

ただし，合格者が10人に満たない学科，課程の受験者には，総合点，大学入試センター試験及び個別学力検査の科目ごとの得点（合否判定時に採用された科目の得点）のみを通知します。

平成30年度入学者選抜試験の成績の開示を希望する者は，下記のとおり申請してください。

（２） 申請方法

下記①～③の書類を同封し，郵送（簡易書留）にて申請してください。**郵送以外での申請は認められませんのでご注意ください。**

① 本学所定の「入学試験個人成績等開示申請書」

申請書の様式は，本学ホームページ（http://www.kagawa-u.ac.jp/admission/）からダウンロードしてください。

② 本学の受験票及び大学入試センター試験受験票のうち，いずれか一つ（大学入試センター試験受験票は，コピー不可）

受験票を添付できない場合は，運転免許証等のコピーを添付してください。

なお，提出された受験票等は入学試験個人成績等通知時に返却します。

③ 返信用封筒（長形３号〈約12cm×23.5cm〉の封筒に，本人の住所，氏名及び郵便番号を明記し，402円分（注）の郵便切手を貼付したもの）

（注）定形50gまでの簡易書留料金。郵便料金が改定される場合がありますので，申請前に本学ホームページ等で料金を確認してください。

（３） 申請書受理期間

平成30年４月13日（金）から平成30年５月11日（金）まで

（４） 申 請 先

〒760-8521　高松市幸町１番１号　香川大学入試グループ　TEL（087）832-1182

（５） 申請者に対する開示時期

平成30年６月中旬ごろに郵送（簡易書留）にて本人に通知します。

（６） そ の 他

開示に要する手数料は，無料です。ただし，郵送料は申請者の負担とします。

〔２〕 合格者の成績の公表

平成30年度の各学部・学科等における一般入試の合格者の総合点，大学入試センター試験と個別学力検査の最高点，最低点及び平均点についての開示は，平成30年７月に本学が発表する「平成31年度入学者選抜要項」及び本学ホームページにより公表する予定です。なお，教育学部，法学部，経済学部，創造工学部，農学部にあっては学部別に，医学部にあっては学科別に開示します。

ただし，合格者が10人に満たない学科，課程については公表しません。

〔３〕 入試問題及び解答例等の閲覧

本学広報室において，次のとおり，閲覧できます。

（１） 平成30年度入試問題は，試験終了時刻以降に閲覧できます。なお，平成29年度以前の入試問題については，常時，閲覧できます（コピー不可）。

（２） 平成30年度入試問題の解答例等の閲覧は，平成30年４月13日から平成30年10月12日までの間に限ります。

（３） 閲覧時間は，９時から17時までです（土曜日，日曜日，祝日及び12月29日～１月３日を除く。）。

（４） 問い合わせ先：香川大学広報室　TEL（087）832-1027

（５） 情報提供の一環として，本学ホームページ上においても，入試問題を公表します（原則として過去１年分のみ）。なお，著作権許諾の関係により一部公表できない場合もあります。

○ 公表予定期間

平成30年７月から約１年間（著作権許諾の関係で多少前後します。）

（http://www.kagawa-u.ac.jp/）

１１．障害を有する入学志願者等との事前相談について

障害を有する等，受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は，出願に先立ち，あらかじめ本学と相談してください。

なお，相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので，出願前のできるだけ早い時期に，相談してください。

特に，下表に相当する障害がある者については，申出がなかった場合，受験の際，障害等の状態に応じた対応ができなくなる場合もありますので十分注意してください。下表から判断できない場合は，お問い合わせください。

区　　分	障　害　の　程　度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病　　弱	・慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ の 他	上記以外で，受験上，修学上特別の配慮を必要とするもの （例）発達障害（ＡＤＨＤ，高機能自閉症等），パニック障害，頻尿

また，医学部に関しては，心身の障害の程度により，卒業後の資格試験（国家試験）に合格しても「医師」「看護師」等の免許が交付されないことがあります。

関係法令等は，医学部ホームページ（http://www.med.kagawa-u.ac.jp/）を参照してください。

〔1〕相談の方法

申請書（本学所定又は本学が必要とする内容が記されたもの，健康診断書等必要書類添付）を提出することとし，必要な場合は，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

〔2〕問い合わせ先

香川大学入試グループ　〒760-8521　高松市幸町1番1号　TEL(087)832-1182

１２．出願資格審査について

本学における個別の入学資格審査により出願しようとする者は，事前審査を行いますので，あらかじめ問い合わせてください。

出願資格審査の概要は以下のとおりです。

〔1〕申請期限

平成30年１月19日(金)まで(必着)

〔2〕審査の時期

申請書受理後，随時行うものとします（審査期間として２週間程度を要します。）。

〔3〕 申請書類

① 出願資格審査申請書（本学所定の様式）※
② 修了（卒業）証明書又は修了（卒業）見込証明書
③ 成績証明書又はこれに準ずるもの
④ 修業年限，カリキュラム等が記載された書類
⑤ 返信用封筒（長形３号の封筒に682円分（簡易書留・速達料金）の切手を貼り，申請者の住所，氏名及び郵便番号を明記すること。）

※ 本学ホームページで入手できます。
(http://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/admis-judge/)

〔4〕申請書の提出方法及び提出先

申請書類を郵送する場合は，必ず簡易書留・速達郵便とし，封筒表面に「出願資格審査申請書在中」と朱書してください。

提出先　〒760-8521　高松市幸町１番１号　香川大学入試グループ　宛
TEL（087）832－1182

１３．個人情報の取扱いについて

１．出願書類に記載された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報）は，入学者選抜，合格通知及び入学手続を行うために利用します。また同個人情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），授業料及び教育研究活動の支援と本学の発展のための活動に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。

２．入学者選抜における個人成績は，入学者選抜の他，調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析，各種統計資料作成）及び合格者の入学後の教務・学生支援関係業務にのみ使用し，本学の関係教職員以外への提供は行いません。また，調査･研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。

３．国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため（追加合格決定業務を含む。），合格者の情報（氏名及び入学手続状況）は，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ送達されます。

４．提出された出願書類の個人情報を電算処理するため，当該電算処理に係る業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で，外部の事業者に委託することがあります。

１４．その他

〔１〕「地域医療推進枠」で入学した者に支給される香川県医学生修学資金の概要について

地域医療推進枠　９人に支給される修学資金等の概要は次のとおりです。

香川県医学生修学資金

貸 与 額　　月　額　120,000 円

貸与期間　　６年間

貸付申請（平成 30 年４月予定）の際には，連帯保証人（独立の生計を営み，修学資金の返還の義務を負担することができる成年者）２人が必要となります。

修学資金返還の免除　大学を卒業し，初期研修を修了後９年間（ただし県内の医療機関で初期研修を受けた場合は７年間），知事が指定する医療機関（香川県内の公立病院等）で医師として勤務した場合，貸与額が全額返還免除されます。

詳細は，香川県ホームページ（http://www.pref.kagawa.lg.jp/）から「香川県　医学生修学資金貸付」で検索。

問い合わせ先　香川県健康福祉部医務国保課　TEL（087）832－3321

〔２〕ノート型パソコン必携について

（１）創造工学部

本学創造工学部は技術者に求められる先端的な情報教育を行います。そのために，授業でノート型パソコンを使用します。また，研究活動では学内ネットワークやインターネットを通じて，学内外との積極的な情報交流を行います。このため，入学生にノート型パソコンの購入を奨励しています。機種等の詳細については合格通知後にお知らせします。なお，特別のご事情がある場合は工学部学務係（創造工学部入試担当）までご相談ください。

（２）農学部

本学農学部は高度情報化・ネットワーク社会で活躍する技術者・研究者に求められる情報処理教育を行います。授業や学生実験だけでなく，教員や学外との情報交換等，大学でのさまざまな活動にパソコンを使用します。このため，学生全員にノート型パソコンの購入を勧めています。機種等の詳細については合格通知後にお知らせします。なお，特別のご事情がある場合は農学部学務係までご相談ください。

１５．入学試験等に関する照会

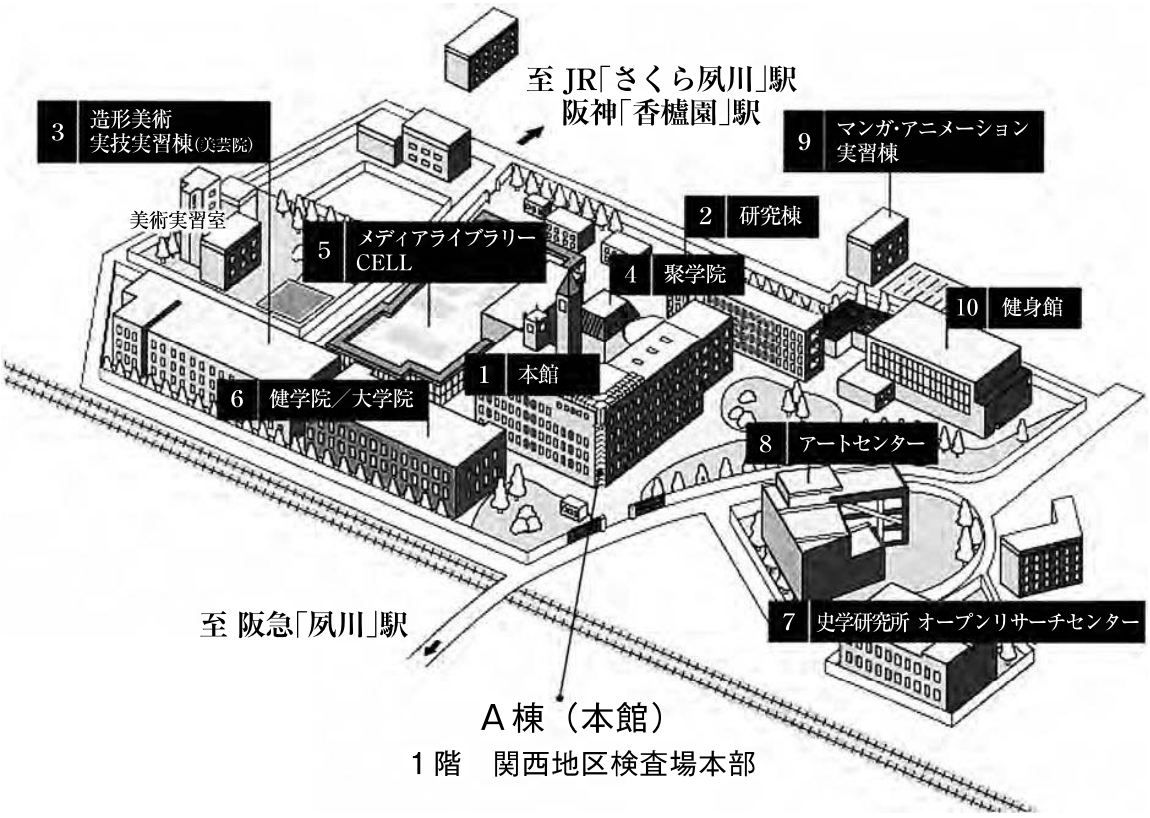
入学試験等に関する照会は，下記あてに行ってください。

香川大学入試グループ	〒760-8521	高松市幸町１番１号 TEL(087)832-1182
香川大学教育学部学務係	〒760-8522	高松市幸町１番１号 TEL(087)832-1428
香川大学法学部・経済学部学務第一係(法学部担当)	〒760-8523	高松市幸町２番１号 TEL(087)832-1806
香川大学法学部・経済学部学務第二係(経済学部担当)	〒760-8523	高松市幸町２番１号 TEL(087)832-1813
香川大学医学部学務課　大学院・入学試験係	〒761-0793	香川県木田郡三木町池戸1750番地1 TEL(087)891-2074
香川大学工学部学務係（創造工学部入試担当）	〒761-0396	高松市林町2217番地20 TEL(087)864-2015
香川大学農学部学務係	〒761-0795	香川県木田郡三木町池戸2393番地 TEL(087)891-3015

香川大学関西地区検査場建物配置図

大手前大学（さくら夙川キャンパス）

キャンパス地図



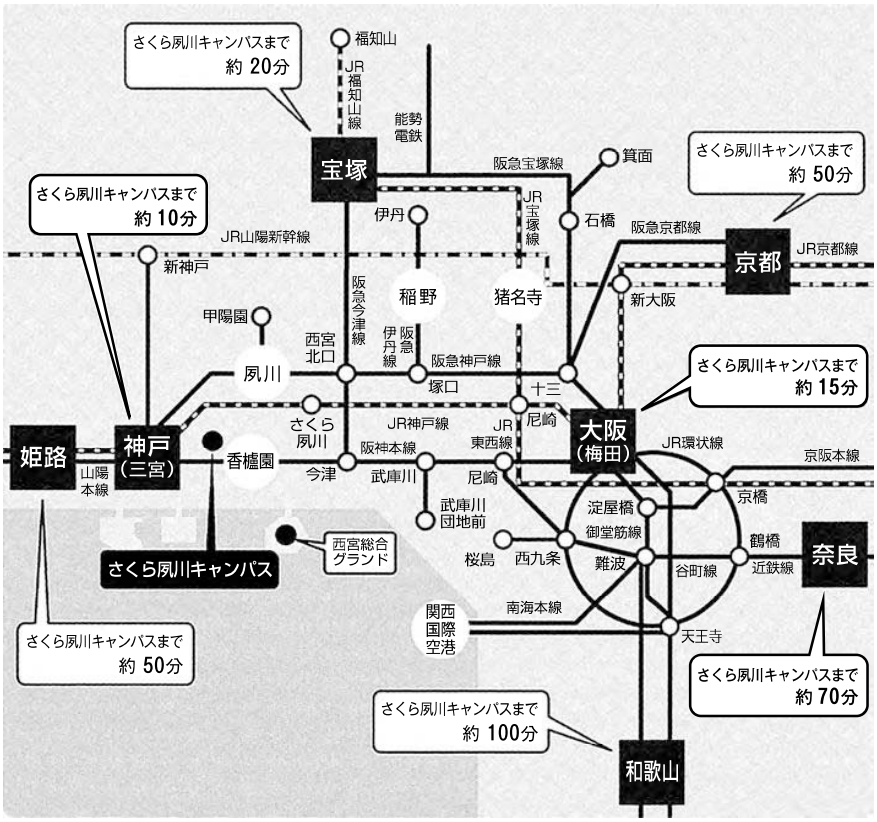
A 棟（本館）

1 階　関西地区検査場本部

香川大学関西地区検査場案内図

大手前大学（さくら夙川キャンパス）

広域アクセスマップ



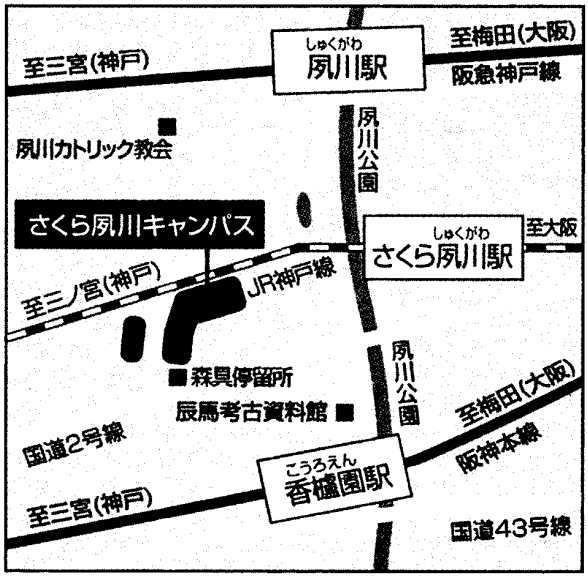
さくら夙川キャンパス
最寄り駅までの所要時間

- 大阪（梅田）から15分
- 神戸（三宮）から10分
- 京都から50分
- 宝塚から20分
- 姫路から50分
- 奈良から70分
- 和歌山から100分

※時間帯や乗り継ぎ等により異なる場合があります。

さくら夙川キャンパス

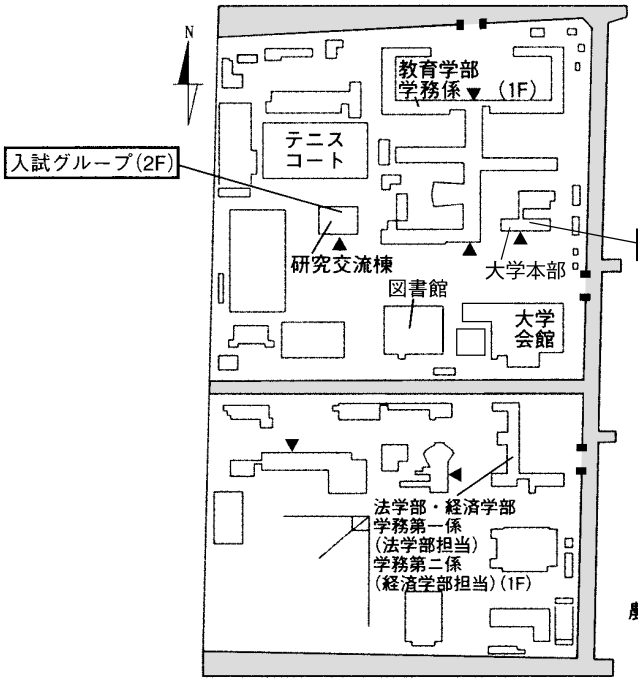
〒662-8552　兵庫県西宮市御茶家所町６－42



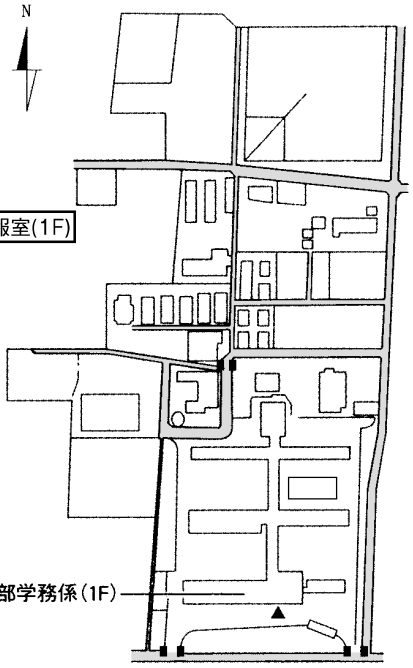
- ＪＲさくら夙川駅から徒歩７分
- 阪急夙川駅から徒歩７分
- 阪神香櫨園駅から徒歩７分

香 川 大 学 建 物 配 置 図

幸町北キャンパス（教育学部）
幸町南キャンパス（法学部・経済学部）

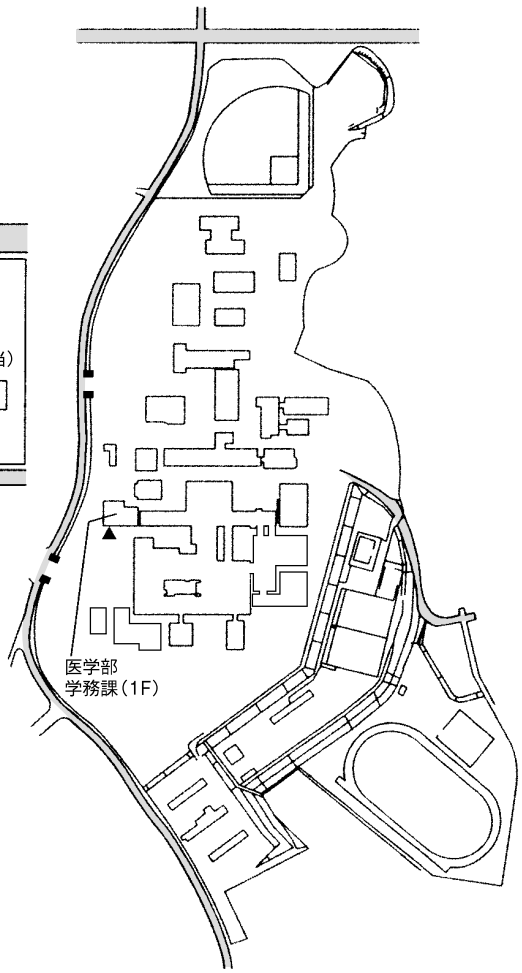


三木町農学部キャンパス（農学部）

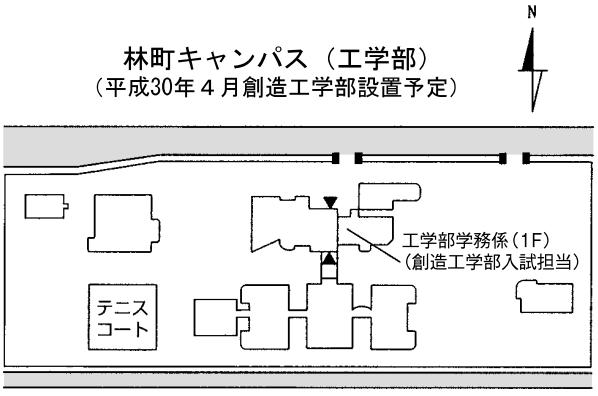


▲印は建物出入口を示す。

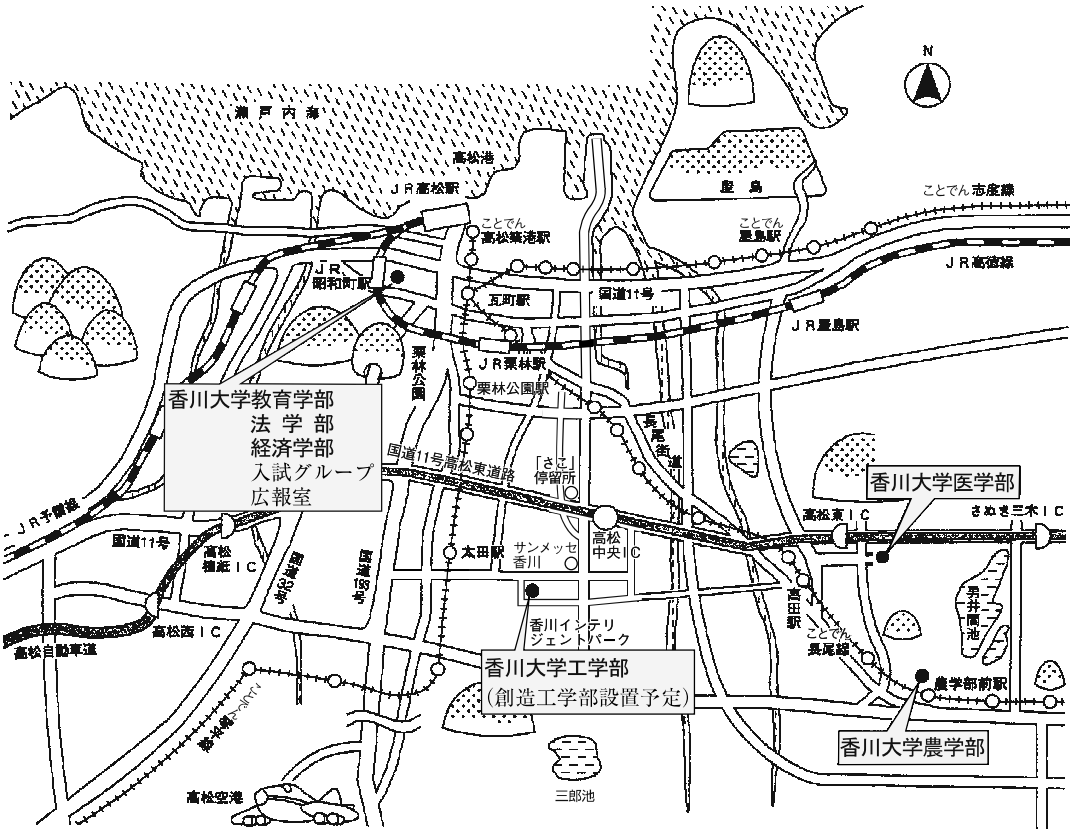
三木町医学部キャンパス（医学部）



林町キャンパス（工学部）
（平成30年４月創造工学部設置予定）



香川大学検査場案内図



教育学部･法学部･経済学部・入試グループ・広報室

ＪＲ	高徳線「高松駅」⟶「昭和町駅」下車　徒歩５分（東へ250m）
バス	ＪＲ高松駅発（高松駅前①②番のりば） ことでんバス　11下笠居線・昭和町経由便 「高松駅」⟶「幸　町」下車　徒歩２～３分（西へ150m） ことでんバス　13下笠居線・宮脇町経由便又は15香西線・宮脇町経由便 「高松駅」⟶「宮脇町」下車　徒歩２～３分（北へ150m） ことでんバス　まちなかループバス　1東廻り　2西廻り 「高松駅」⟶「香川大学教育学部前」下車すぐ 「香川大学法学部・経済学部前」下車すぐ 高松空港発 空港連絡バス⟶「中新町」又は「県庁通り・中央公園前」下車　徒歩10分～15分（西へ750m）
タクシー	ＪＲ高松駅⟶香川大学　約10分　約800円

医　学　部

電　車	ことでん長尾線「ことでん高松築港駅」⟶「高田駅」下車　バス５分　又は　徒歩25分（東へ1.5km）
バス	ＪＲ高松駅発（高松駅前⑦番のりば） ことでんバス　75高松医療センター・大学病院線 「高松駅」⟶「大学病院」下車　徒歩１分（北へ50m）
タクシー	ＪＲ高松駅⟶香川大学医学部　約30分　約4,000円

工　学　部　（平成30年４月　創造工学部設置予定）

電　車	ことでん琴平線「ことでん高松築港駅」⟶「太田駅」下車　バス11分
バス	ＪＲ高松駅発（高松駅前⑧番のりば） ことでんバス　65川島線・レインボー通り経由便 「高松駅」⟶「香川大学工学部前」下車　徒歩１分（南へ50m） ことでんバス　61川島線・サンメッセ香川経由便 「高松駅」⟶「サンメッセ香川」下車　徒歩10分（西へ500m）
高速バス	高速バス「高松中央インター南」下車　北西へ徒歩３分（200m）　又は ↓　「高松中央インターバスターミナル」下車　西へ徒歩５分（380m） ことでんバス　61川島線・サンメッセ香川経由便 63西植田線 「さこ」⟶「サンメッセ香川」下車　徒歩10分（500m） ※徒歩の場合，「高松中央インター南」から工学部まで約25分（約1.8km） 「高松中央インターバスターミナル」から工学部まで約30分（約2.0km）
タクシー	ＪＲ高松駅⟶香川大学工学部　約30分　約3,500円

農　学　部

電　車	ことでん長尾線「ことでん高松築港駅」⟶「農学部前駅」下車　徒歩２分（北へ100m）
バス	大川バス　引田線（高松駅前⑧番のりば）「高松駅」⟶「農学部前」下車　徒歩５分（北へ250m）
タクシー	ＪＲ高松駅⟶香川大学農学部　約40分　約4,400円

（注）電車，バス等の運行時刻については，受験者各自で確認してください。また，バス路線等については，変更になる場合もあるので注意してください。

入学試験等に関する照会先

香川大学入試グループ	ＴＥＬ（０８７）８３２－１１８２ 〒760-8521　高松市幸町１番１号
香川大学教育学部学務係	ＴＥＬ（０８７）８３２－１４２８ 〒760-8522　高松市幸町１番１号
香川大学法学部・経済学部学務第一係 （法学部担当）	ＴＥＬ（０８７）８３２－１８０６ 〒760-8523　高松市幸町２番１号
香川大学法学部・経済学部学務第二係 （経済学部担当）	ＴＥＬ（０８７）８３２－１８１３ 〒760-8523　高松市幸町２番１号
香川大学医学部学務課 大学院・入学試験係	ＴＥＬ（０８７）８９１－２０７４ 〒761-0793　香川県木田郡三木町池戸1750番地１
香川大学工学部学務係 （創造工学部入試担当）	ＴＥＬ（０８７）８６４－２０１５ 〒761-0396　高松市林町2217番地20
香川大学農学部学務係	ＴＥＬ（０８７）８９１－３０１５ 〒761-0795　香川県木田郡三木町池戸2393番地

香川大学ホームページ　　http://www.kagawa-u.ac.jp/

インターネット出願サイト

https://shikoku.applyjapan.com/login/application

インターネット出願の操作方法に関する照会先

四国国立５大学インターネット出願専用コールセンター

ＴＥＬ（０８２）５４５－４８５５

※受付期間　平成29年８月１日（火）～８月10日（木）
平成29年９月４日（月）～９月８日（金）
平成29年11月１日（水）～11月８日（水）
平成30年１月15日（月）～１月19日（金）
平成30年１月22日（月）～１月31日（水）
10時から18時まで（土日含む）